

1生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底

取り組み項目		(1)がん				
指標項目	1	75歳未満のがんの年齢調整死亡率の減少(10万人当たり)	基準値		実績値	目標値
			H22		H31	R5
			79.8		69.2	70.0
	2	がん検診受診率の向上(市が実施するがん検診の他、職場検診、人間ドック等を含む)	基準値		実績値	目標値
			H23		H30	R5
			肺	19.9%	31.0%	40%
			胃	28.7%	38.9%	40%
			大腸	27.9%	37.4%	40%
			乳	46.3%	48.9%	50%
			子宮頸	37.3%	42.6%	50%
取り組み施策		概要				
1	発症予防	禁煙やバランスのとれた食事等がんと対する正しい知識の普及等を行い、がんの発症を予防する。				
2	早期発見	がん検診について、市民にわかりやすい情報提供や、企業や団体等と連携した啓発等をすすめることにより、がん検診の受診率向上を図る。				
3	情報発信・相談支援	がんサロンの支援やがんの治療、在宅医療に関する情報提供等を行い、患者や家族を支援する。				

1.令和3年度の関係機関・団体における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
1	口腔ガンに対するポスター等による啓発【熊本市歯科医師会】
	がん医療研修会を開催し、より良い服薬指導ができるようがん治療の理解を深める。【熊本市薬剤師会】
	発症予防のための食支援として健康づくりのための食習慣の推奨【熊本県栄養士会】
	包括と保健子ども課との連携によるデータ収集【熊本市地域包括支援センター連絡協議会】
	事業場の産業保健スタッフ等を対象とした、生活習慣病の予防、禁煙の健康影響に関する研修会を実施している。【熊本産業保健総合支援センター】
	体育科保健領域において、生活習慣病など生活行動が主な原因となって起こる病気の予防には、適切な運動、栄養の偏りのない食事をとることなど、望ましい生活習慣を身につける必要があること、喫煙や飲酒などの行為は健康を損なう原因になることを学習している。【小学校校長会】
	また、地域では、保健にかかわる様々な活動が行われていることについても学習する。生涯にわたって心身の健康を保持増進できるよう学習に取り組んでいる。【小学校校長会】
	事業場における治療と仕事の両立支援のためのガイドラインの周知(がんに関する部分を同封します)【熊本労働基準監督署】
	熊本市スポーツ推進委員協議会は、地域でのスポーツ関連事業の連絡調整及び実技指導等を行う。年に一度、市の推進委員が集まり全体で研修会を行っており、R3年度研修会の中で、第2次健康くまもと21概要版を使って講習を実施。【熊本市スポーツ推進委員協議会】
	生活習慣病予防のために、調理実習や講習会を通し、減塩の重要性や、野菜摂取量増加、食事バランスガイドの普及のための活動を実施。【食生活改善推進員協議会】
	情報発信として、市が実施する検診や人間ドッグの案内を行い、受診を促す。【熊本農業協同組合】
	社協だよりを通じてのロコモティブシンドロームに関する資料提供【西区代表】
	ささえりあによる、フレイル予防のための体力測定とアドバイス【西区代表】
健康まちづくり委員会で実施している「歩け歩け大会」を通して、健康に関心を向けてもらう【西区代表】	
特定健診の案内と後期高齢者健診・歯科口腔検診のチラシを印刷配布【西区代表】	

1	<p>がん発症予防のためには生活習慣病等の予防、禁煙のすすめ等が重要と考え、「栄養」「運動」「社会参加」の3本柱を基本として、サロン活動等を計画・継続展開を計画していたが、コロナ禍が収束せず、継続的な活動が出来なかったため、熊本市発行の「食のきほん」「運動手帖3種」「運動機能向上」「通いの場」等を配布し、生活不活発病予防に努めた。【東区代表】</p>
2	<p>熊大口腔外科と連携し画像による早期診断体制の確立【熊本市歯科医師会】</p> <p>シティFM放送「健康サロン」でがん予防・がん検診についてアナウンス。【熊本県看護協会】</p> <p>がんサロンや在宅医療に関する研修会への積極的な参加による理解【熊本市地域包括支援センター連絡協議会】</p> <p>加入事業所宛に生活習慣病予防健診(胃・肺・大腸・乳・子宮がん項目を含む)のご案内を送付し、受診率向上を図っている。【協会けんぽ】</p> <p>40歳以上の被扶養者個人宛に、市町村主催の集団健診のご案内を送付(特定の市町村に限る)し、受診率の向上を図っている。【協会けんぽ】</p> <p>産業医の選任義務のない労働者数50人未満の事業場を対象に、地域産業保健センターの支援として定期健康診断の有所見者に対する医師の意見聴取や保健指導等を実施している。【熊本産業保健総合支援センター】</p> <p>ほとんどの幼稚園・認定こども園では4月に教職員の健康診断をしており、検診結果を基に各自が病院等で再検査をしています。【熊本市私立幼稚園・認定こども園協会】</p> <p>学校保健安全法に基づき、毎年度4月～6月末に健康診断を実施。結果については全児童及び保護者に通知し、検査や治療等適切な事後措置を行う。【小学校校長会】</p> <p>また、心身に疾病や異常が認められず、健康と認められる児童等についても事後措置として通知し、健康の保持増進に役立っている。また、毎日健康観察を行っている。【小学校校長会】</p> <p>担任や養護教諭を中心に教職員の連携の下、健康観察の結果をもとに健康相談や保健指導につなぐ。日々の継続的な実施により児童等に自他の健康に関心をもたせ自己管理能力育成に取り組むとともに、心身の健康に心配がある場合は相談できる力を身につけることができるようにしている。【小学校校長会】</p> <p>職員に対しては、毎年度実施される定期健康診断や、希望者への人間ドック受診など、積極的に健康管理に努めるよう促している。健康診断結果等についても、必要な職員については、受診や検査を促している。【小学校校長会】</p> <p>昨年健康くまもと21推進会議に参加したのちに、熊本市PTA協議会の3役員及び常任理事会において会議参加報告とともに、定期検診や歯科検診、がん検診の積極的な受診が必要であることを提案しました。また、熊本市において様々な取り組みがなされている旨を説明し、我々子育て世代が今から健康に関して意識することにより、がんだけではなく様々な健康リスクを早期のうちに対策することにより、日々の生活が安心安全に迎えられるのではないかと提案しました。【熊本市PTA協議会】</p> <p>協議会内で、特定検診やがん検診について啓発した。【熊本市食生活改善推進員協議会】</p>
	<p>禁煙を勧める為に研修会を開き禁煙指導薬剤師を養成、薬局での禁煙指導を行っている。【熊本市薬剤師会】</p> <p>がん患者様の在宅支援のため必要な無菌調剤が、無菌調剤室を設置していない薬局でもできるように、共有できる無菌調剤室を会営薬局(西部薬局)に設置した。【熊本市薬剤師会】</p> <p>無菌調剤室共有のために必要な無菌調剤の研修を2回、実施研修を1回、行った。【熊本市薬剤師会】</p> <p>訪問看護師により、在宅療養を行うがん患者の退院支援や訪問看護によるケアおよび相談対応等療養生活を支援。【熊本県看護協会】</p>

3	がんに関する基本的知識や化学療法、放射線療法などの治療について正しい知識を患者ケアに活かすための研修会を開催。(令和3年9月24日参加者看護職54名)【熊本県看護協会】
	在宅療法を行うがん患者の退院支援の実際やQOL向上を目指したケアを提供するために看護職を対象に研修会を開催。(令和3年11月25日参加者看護職73名)【熊本県看護協会】
	検診受診率の向上のため、高齢者サロン等での周知と啓発【熊本市地域包括支援センター連絡協議会】
	がん等の病気になっても治療しながら働き続けることができる環境を支援する「治療と仕事の両立支援」の啓発・支援や、がんに関する様々な情報をホームページやメールマガジンにて情報発信している。【熊本産業保健総合支援センター】
	生活習慣の大切さや病気の予防等について保健だよりで情報を発信したり、喫煙、飲酒、薬物乱用防止教室を行い、正しい知識を児童が身に付け、行動できるよう取り組んでいる。また、学校保健委員会を開催し、望ましい生活習慣を身に付けることができるよう、学校と家庭が連携して取組を進めている。【小学校校長会】

2.令和4年度からの関係機関・団体における新たな取り組み

今年度の新たな取り組み	<p>個人的には以前総合病院で勤務していたため、他科からがん患者が精神的に不安が強くなり治療を拒否するようになった時には精神科を受診するように紹介を受けたことはある。今後も抑うつ状態があり自傷行為などの危険がある患者や、亡くなる期間がある程度わかれている方の緩和ケア的な対応に関して相談されるのは良いと考える。【熊本県精神科協会】</p> <p>①未成年者の喫煙の及ぼす影響について(R4.5.18)のアナウンス実施※「がん予防・がん検診」の内容については継続実施(R4.5.11)②県内13支部(うち熊本市内3支部)で開催している「まちな保健室」において、「がん検診」受診促進のリーフレットを配布し啓発に努める。【熊本県看護協会】</p> <p>40歳以上の被扶養者を対象に、熊本市と協働で特定健診と集団健診が同時に受診できる花畑健診(2/25～27)を実施予定。【協会けんぽ】</p> <p>がん予防について、在宅でできる事として、生活習慣からの取り組み等学ぶ機会を増やす。【熊本市地域包括支援センター連絡協議会】</p> <p>早期発見の取組を引き続き3役会及び常任理事会で提言していくとともに、熊本市の公式LINEアカウントの登録・加入をお願いしていく。特に健康に関わることを受信してもらうために、興味あることのチェックボックスに健康関係を入れてもらうよう案内する。また、常任理事会で各区の代表が参加するので、区ごとに情報を共有してもらえるような仕組みを検討。最近は紙媒体で配布するよりも、PDFデータ等で直接メールやLINE等で送付するほうが回覧率が高いと思われるため、各種啓発活動用のチラシがあれば、PTAからのご案内として、熊本市の取り組みに協力していることを提案していく。【熊本市PTA協議会】</p> <p>地域住民(高齢者)が集い、健康づくりを促進するための地域ボランティアによる事業立ち上げ(地域支え合い型通所サービス)【西区代表】</p>
-------------	---

3.新型コロナウイルス感染拡大防止に関連したがんに関する取組等の実績や取組予定

新型コロナウイルス感染拡大防止に関連した取組み	<p>がん患者様等の、感染リスクがある患者様に投与される治療薬の取り扱い薬局に登録し、患者様への服薬指導や副作用等の情報を提供し、より良い治療効果と副作用防止ができるよう取り組んでいる。【熊本市薬剤師会】</p> <p>重症化リスクがある対象者であるため、感染管理等に関する研修に力を入れている。【熊本県看護協会】</p> <p>新型コロナ感染に伴う受診控え等で発見や治療が遅れている現状を理解し、高齢者及びご家族の異常の早期発見や早期受診の促し等、業務内でできることから行う。【熊本市地域包括支援センター連絡協議会】</p> <p>コロナ禍で調理実習に制限があるため、生活習慣予防のための簡単レシピを掲載したリーフレットを配布した。【食生活改善推進員協議会】</p> <p>「3密」を防止する等感染拡大防止をお願いするパンフレットを感染すると重症化しやすい高齢者等を対象に配布。【東区代表】</p> <p>社協だよりでのコロナワクチン接種案内【西区代表】</p>
-------------------------	--

4. 令和3年度の行政における主な取り組み状況等

取り組み状況等	
1	医療機関等の関係機関から発信される、がんや生活習慣病に関する研修案内を、ささえりあ圏域のネットワークで発信、地域の定例会や地域活動で紹介、啓発を実施。(高齢者支援センターささえりあ実施)
	高齢者サロン、民生委員等を対象に検診の案内、終末期医療・在宅医療の啓発。(高齢者支援センターささえりあ実施)
	子宮頸がん予防接種の情報提供として、定期予防接種の標準的な接種年齢とされている中学1年生とともに定期予防接種の最終学年である高校1年生相当に対して、リーフレットなどの資料を個別に送付。
	民協会議や高齢者サロン、幼児健診(保護者対象)にて、がん検診のリーフレットを配布し啓発。
	健康まちづくり推進員協議会総会(書面開催)や子育て支援ネットワーク会議(書面開催)にて、がん検診のリーフレットを送付し啓発。
	子育てサークル、子育て支援ネットワーク会議、高齢者サロン、民協会議、社協長会議、自治協会議、健康まちづくり推進員会、8020推進員養成講座、食生活改善推進員養成講座等でがん検診等に関する情報提供やリーフレットを配布し、受診勧奨及び啓発
	がんの一次予防のため、喫煙(受動喫煙を含む。)、生活習慣病対策、食育、栄養改善、歯科保健等の健康増進事業を行うとともに、また、インセンティブ事業として市民の健康行動に対し、ポイントを付与し、抽選で商品が当たる健康ポイント事業を実施。
2	特定健康診査受診券交付時の同封文書にがん検診について掲載し、受診勧奨を実施。特定健診実施機関一覧表において、がん検診(大腸、胃、乳、子宮)の実施状況も併せて掲載。(国保特定健康診査対象者約10万5千人)
	市役所ロビー等などを利用した啓発ブースやイベント等の機会を活用し、受動喫煙に関する情報提供や日常生活における生活習慣病の予防法等について啓発を実施。
	国の指針に基づき、肺・胃・大腸・乳・子宮頸がんの5種の検診を実施し、各種がん検診について、市政だより、市ホームページ、ラジオ等で受診勧奨の広報を実施。
	乳がん・子宮頸がん検診において、対象年齢となる偶数年齢者の受診期間を5月末まで猶予する特例受診許可証を発行。
	令和3年10月～令和4年3月に大腸がん郵送検診を実施。
	協会けんぽやがん対策協定企業等との連携による受診率向上のための啓発を実施した。・協会けんぽ扶養者への特定受診券送付時に市がん検診の案内を同封・協会けんぽ加入者に、集団検診の受診勧奨を実施(植木・城南地区の集団検診)・がん対策協定企業へ情報提供や広報を依頼
	がん検診対象者へ個別に受診勧奨通知を送付した。・乳がん及び子宮頸がん無料クーポン券及び再受診勧奨はがき(乳がん・40歳女性、子宮頸がん・20歳女性)・大腸がん郵送検診はがき(満40・50・60歳になる市民)・乳がん検診受診勧奨通知(満42・44・46・48・52・54・56・58歳になる女性)・子宮頸がん検診受診勧奨通知(満20・22・24・26・28・30・32・34・36・38歳になる女性)・がん検診のお知らせ(満62、66、68、70歳になる市民)・乳がん検診次年度対象者への受診勧奨通知(次年度満42・44・46・48・52・54・56・58歳になる女性)・子宮頸がん検診次年度対象者への受診勧奨通知(満20・22・24・26・28・30・32・34・36・38歳になる女性)
令和3年10月から40歳代の市民を対象に胃がんリスク検査を実施。	
3	働き世代や子育て世代を対象にしたがんサロンを毎月1回開催し、がん患者を支援。
	がんに関する悩みや不安への相談対応及び治療法に関する情報発信等を行う「がんサポートセンター」を開設(平成25年7月1日)令和3年度の相談件数:35件

5. 令和4年度からの行政における新たな取り組み

<p>新たな取り組み ※継続事業は記載の必要はありません</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・がんに関する情報及び相談先を記載したチラシをショッピングセンターに設置予定・熊本市がん対策企業等連携協定締結企業・団体へチラシを配布し情報共有を行う。 ・子宮頸がん予防接種の積極的勧奨が再開され、定期予防接種の標準的な接種年齢とされている中学1年生とともに定期予防接種の最終学年である高校1年生相当に対して、個別通知による勧奨を実施する。また、積極的勧奨が控えられた時期に接種機会を逃した平成9年度から平成17年度生まれの9学年を対象に、令和4年4月から3年間(令和4年度～令和6年度)公費による接種を実施すると決定されたことから、令和4年4月よりキャッチアップ接種として実施。併せて、積極的勧奨中断の間に定期接種の機会を逃し、対象年齢を過ぎてから任意で接種した方への費用助成を令和4年9月から令和7年3月まで実施する。 ・令和4年度からこれまで集団検診のみで行ってきた肺がんの個別検診を実施予定。
--------------------------------------	--

6. 新型コロナウイルス感染拡大防止に関連したがんに関する取組等の実績や取組予定

<p>新型コロナウイルス感染拡大防止に関連した取組 ※1.2と重複可</p>	<p>令和2年度(9月)から集団健診において、検診機関に消毒液・マスクの配布を行い、感染症対策に対応するスタッフを増員しながら実施。</p> <p>令和3年度から自宅にいながら受診できる大腸がん郵送検診を、期間を延長して実施。</p>
--	---

※参考(1) 熊本市がん検診受診率(全人口による算出) 職場健診、人間ドック等は含まず														
		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度	R3年度			
肺がん	対象者数(全人口)	406,159	411,324	416,188	420,702	418,206	426,774	429,748	432,496	435,170	437,184			
	受診者数	22,861	22,579	22,443	22,679	20,000	21,233	21,142	20,748	17,071	19,015			
	肺がん受診率	5.6%	5.5%	5.4%	5.4%	4.8%	5.0%	4.9%	4.8%	3.9%	4.3%			
胃がん	対象者数(全人口)	406,159	411,324	416,188	420,702	418,206	426,774	429,748	432,496	435,170	437,184			
	受診者数	10,556	10,107	9,904	9,477	8,658	8,952	8,930	10,596	9,972	11,205			
	胃がん受診率	2.6%	2.5%	2.4%	2.3%	2.1%	2.1%	2.1%	2.4%	2.3%	2.6%			
大腸がん	対象者数(全人口)	406,159	411,324	416,188	420,702	418,206	426,774	429,748	432,496	435,170	437,184			
	受診者数	22,670	22,467	22,194	22,512	18,108	19,763	21,817	21,725	19,781	22,436			
	大腸がん受診率	5.6%	5.5%	5.3%	5.4%	4.3%	4.6%	5.1%	5.0%	4.5%	5.1%			
乳がん	対象者数(全人口)	223,671	226,426	228,879	231,220	230,316	233,702	235,310	236,738	238,142	239,202			
	受診者数	12,036	11,837	14,183	11,491	9,287	10,199	13,282	14,403	13,137	13,783			
	乳がん受診率	10.6%	9.9%	10.9%	10.6%	8.3%	8.1%	9.6%	11.4%	11.3%	11.0%			
子宮頸がん	対象者数(全人口)	316,947	317,693	318,399	318,762	319,447	317,810	318,049	318,096	318,681	318,596			
	受診者数	19,017	18,678	23,530	16,973	13,095	17,949	20,534	24,275	24,258	27,009			
	子宮頸がん受診率	12.0%	11.6%	13.0%	12.5%	8.9%	9.7%	12.0%	14.0%	15.2%	16.0%			
											※参考(2) 無料クーポン利用率 (R3実績)			
													(単位:人)	
											対象者	利用者	利用率	
											4,703	980	20.8%	
											3,787	313	8.3%	

1 生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底

取り組み項目	(2)循環器疾患						
指標項目	3	脳血管疾患・虚血性心疾患の年齢調整死亡率の減少 (10万人当たり)	基準値		実績値	目標値	
			H22		R1	R5	
			脳血管疾患	男性	36.3	27.9	28.4
				女性	22.9	16.2	20.7
		虚血性心疾患	男性	22.1	14.4	17.0	
			女性	7.6	4.3	4.3	
	4	血圧が正常域の者の増加	基準値		実績値	目標値	
			H23		R3	R5	
			51.4%		51.5%	増加傾向へ	
	5	脂質異常症(高コレステロール血症)患者の減少 ※LDLコレステロール160mg/dl以上	基準値		実績値	目標値	
			H23		R3	R5	
			男性	10.3%	9.0%	6.2%	
		女性	15.2%	14.5%	8.8%		
	6	メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少	基準値		実績値	目標値	
			H20		R3	R5	
			該当者	14.9%	19.5%	H20に比べ 25.0%減少	
予備群	13.0%	12.5%					
7	特定健康診査の受診率・特定保健指導実施率の向上	基準値		実績値	目標値		
		H23		R3	R5		
		診査受診率	25.8%	28.8%	60.0%		
		指導実施率	16.8%	12.6%	60.0%		
取り組み施策	概要						
施策1 発症予防・早期発見	循環器疾患の予防に関する知識の普及や、特定健康診査の受診を啓発し、脳血管疾患、虚血性心疾患等の発症予防に取り組む。						
施策2 重症化防止	要治療者で医療機関未受診の者に受診勧奨を行うとともに、脳卒中地域連携パスの利用に関する情報提供を行うなど重症化防止に努める。						
施策3 推進体制の整備	市民への啓発を進めるため、医療機関や医療保険者、事業所の健康管理者等との連携を図る。						

1.令和3年度の関係機関・団体における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	各薬局にてCKDや糖尿病等々の疾患に関するパンフレットを置き、予防に関しての説明、相談を受けている。 【熊本市薬剤師会】
	介護・福祉施設、在宅看護に関わる者、及び病院所属看護職(200床未満を優先)を対象に「心不全の理解と看護～在宅・病院・施設でも活かせるアセスメント～」について研修会を開催。心不全の早期発見と悪化予防等患者ケアに活かした。(R3.12.7参加看護職94名内訳:会場36名、オンライン58名)【熊本県看護協会】
	被扶養者に対し、オプション検査付きの特定健診(集団健診)を各地で実施。【協会けんぽ】
	加入者に対し、支部保健師・管理栄養士又は委託により特定保健指導を実施。【協会けんぽ】
	労働安全衛生法に基づく定期健康診断の確実な実施の履行確保【労働基準監督署】

	6年生の体育科保健領域の「病気の予防」では、生活習慣病など生活行動が主な要因となって起こる病気の予防について学習している。生活行動が主な要因となって起こる病気には、心臓や脳の血管が硬くなったり、つまったりする病気があること、予防には、望ましい生活習慣を身につける必要があることを学習し理解を深めている。また、飲酒や喫煙が健康に影響し、健康を損なう原因になることについても学習し理解を深めている。【小学校校長会】
施策2	各薬局で検査データの説明、相談を受けたときに医療機関の受診が必要と思われる方への受診勧奨を行っている。【熊本市薬剤師会】
	血圧高値者に対し、受診勧奨を実施。【協会けんぽ】 職員に対して、毎年度実施される定期健康診断や、希望者への人間ドック受診など、積極的に健康管理に努めることができるよう促している。健康診断結果等についても、必要な職員については、受診や検査を促している。【小学校校長会】
施策3	地域の定期健康診断日は、学校敷地を利用可とし、地域に開放している学校もある。【小学校校長会】

2. 令和4年度からの関係機関・団体における新たな取り組み

具体的な内容 ※継続事業は記載の必要ありません。	・LDL高値者に受診勧奨を実施。(対象者:LDL180mg/dl以上)【協会けんぽ】 ・心電図所見で心房細動がある対象者に受診勧奨、保健指導を実施。【協会けんぽ】
-----------------------------	--

3. 新型コロナウイルス感染症拡大防止に関連した取り組みの実績または今後の実施予定

新型コロナウイルス感染症対策関係の取り組み内容 ※1.2と重複可。	各薬局にて感染、発病患者様に家庭内感染防止のための換気、消毒、ゾーニング等、家庭内感染防止の為の助言を、投薬時に行っている。【熊本市薬剤師会】
--------------------------------------	---

4. 令和3年度の行政における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	校区民児協定例会、8020推進員・食生活改善推進員の育成講座、校区単位の健康まちづくりの取り組みを通して、循環器疾患の予防等に関する情報提供や特定健診の受診を啓発。
	自己検脈に関する啓発ポスターの掲示や熊本市公式LINEでの情報発信を実施。
	幼児健診時に啓発モニターによる健康情報の発信
施策2	国保特定健診の結果、高血圧の疑いがある未治療者に対して保健師による受診勧奨を実施(文書・電話・訪問)
	「循環器疾患悪化防止対策モデル事業」(以下、「循環器モデル事業」という。)の実施。 心不全の再発、悪化防止にエビデンスがある心臓リハビリテーション(運動療法)を身近な地域の中で実施できる仕組みを構築することを目的に、循環器疾患に関する市民向け講演会及び専門医、関係機関によるプロジェクト会議、メディカルスタッフ研修会、運動処方と運動継続支援を実施した。(社会医療法人寿量会への委託業務)
	特定健診受診率向上及び保健指導利用率向上のため、国保加入者に対し、電話・ハガキによる受診勧奨(特定健診:電話20,567件・ハガキ50,710枚・SNS5,727件、特定保健指導:電話4,0663件)
施策3	循環器モデル事業の実施にあたり、熊本大学及び市医師会、地域包括支援センター、スポーツ推進委員協議会等からなるプロジェクトを設置し、事業の企画から評価まで助言をいただいた。

5.令和4年度からの行政における新たな取り組み

<p>具体的な内容 ※継続事業は記載の必要ありません。</p>	<ul style="list-style-type: none">・年度末年齢75歳の特定健診受診者については後期高齢者になるため受診勧奨対象外としていたが、75歳についても受診勧奨(訪問、電話、通知等)を実施し、生活習慣病重症化の保健指導とともにフレイル予防についての情報提供を実施。【国保年金課】・受診勧奨対象者への支援とともに同居家族への健診受診勧奨、健診結果についての保健指導を実施。【国保年金課】・幼児の頃から薄味に慣れ将来の生活習慣病を予防し、その保護者も子どもの味付けをきっかけに減塩に取り組むため、3歳児健康診査対象者に子どものみそ汁の塩分濃度を通した啓発を実施。【北区保健子ども課】・循環器モデル事業終了した参加者の6か月後の運動の実施状況や各種検査結果を再度評価し、運動の習慣化の方策を検討。【健康づくり推進課】・循環器モデル事業の結果を踏まえ、くまもと元気くらぶ(各区1か所)においてウォーキング講座を開催するとともに、市民講演会を開催。【健康づくり推進課】
-------------------------------------	---

6.新型コロナウイルス感染症拡大防止に関連した取り組みの実績または今後の実施予定

<p>新型コロナウイルス感染症対策関係の取り組み内容 ※4.5と重複可。</p>	
--	--

1 生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底

取り組み項目	(3) 糖尿病				
指標項目	8	治療継続者の割合の増加 HbA1c6.5%(NGSP値)以上で治療中の者の割合	基準値	実績値	目標値
			H23	R3	R5
	9	血糖コントロール指標におけるコントロール不良者の割合の減少 ※HbA1cが8.4%(NGSP値)以上の者	基準値	実績値	目標値
			H23	R3	R5
	10	糖尿病有病者の増加の抑制 糖尿病治療薬内服中またはHbA1c6.5%(NGSP値)以上未治療中者の割合	基準値	実績値	目標値
			H23	R3	R5
			41.3%	45.4%	増加傾向へ
			1.3%	1.0%	基準値より0.2%減少
			10.2%	13.8%	減少傾向へ
取り組み施策	概要				
施策1 発症予防	糖尿病の発症予防のため、糖尿病やその予防法について正しい理解(知識や技術等)の普及啓発を図る。				
施策2 早期発見	糖尿病の早期発見のため特定健診・職域での定期健診等の受診率向上や保健指導の徹底を行う。				
施策3 重症化防止	糖尿病の重症化を防ぎ、合併症や心血管疾患の発症予防、進展抑制を図る。				
施策4 推進体制の強化	地域保健医療の連携体制、職域や地域コミュニティー等において糖尿病の発症予防から悪化防止までの推進体制の整備を図る。				

1. 令和3年度の関係機関・団体における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	研修会を開催して熊本地域糖尿病療養指導士を養成。継続研修も開催している。【熊本市薬剤師会】
	熊本市内3カ所で毎月「まちの保健室」を開催し、血圧測定や体脂肪測定などを実施し、生活習慣病等に関してパンフレット等を使用して説明、相談を受けている。令和3年度においては、新型コロナウイルス感染拡大の様子を見ながら開催した。【熊本県看護協会】
	6年生の体育科保健領域の「病気の予防」では、生活習慣病など生活行動が主な要因となって起こる病気の予防について学習する。予防には、望ましい生活習慣を身につける必要があること、特に、糖分や脂肪分、塩分を摂りすぎた偏った食事や間食は健康によくないことを学習し理解を深める。授業では担任が養護教諭や栄養教諭とTTで授業を行うこともあり、学習効果を高める工夫も行っている。【小学校校長会】
	労働安全衛生法に基づく定期健康診断の確実な実施の履行確保【労働基準監督署】
	がん発症につながる生活習慣病のひとつである糖尿病予防が重要と考え、「栄養」「運動」「社会参加」の3本柱を基本として、サロン活動等を計画・継続展開を計画していたが、コロナ禍が収束せず、継続的な活動が出来なかったため、熊本市発行の「食のきほん」「運動手帖3種」「運動機能向上」「通いの場」等を配布し、生活不活発病予防に努めた。【東区代表】
施策2	職場において、例年正規・非正規職員の全員が定期健康診断を受診し、検診指摘後のフォローを行っている。【熊本県看護協会】
	加入者本人に対し、生活習慣病予防健診(含大腸・胃・肺・乳・子宮頸)を実施。【協会けんぽ】
	被扶養者に対し、オプション検査付きの特定健診(集団健診)を各地で実施。【協会けんぽ】
	職員に対して、毎年度実施される定期健康診断や、希望者への人間ドック受診など、積極的に健康管理に努めることができるよう促している。健康診断結果等についても、必要な職員については、受診や検査を促している。検診結果をもとにした保健指導についても、対象者には積極的に受けるよう勧奨している。【小学校校長会】
施策3	各薬局にて糖尿病患者様への重症化リスクを説明し、合併症や心血管イベント等説明するとともに、血糖コントロールの重要性を伝えている。【熊本市薬剤師会】
	熊本シティエフエム放送健康サロンにて、「糖尿病と感染症について」のテーマでアナウンスした(R3.5.12)【熊本県看護協会】
	血糖高値者へ文書・電話による受診勧奨を実施。(勧奨人数:6,010人、対象者:空腹時血糖126mg/dl又はHbA1c6.5以上)【協会けんぽ】

	治療を中断した被保険者について、生活指導プログラムを実施。(受診勧奨文書送付、保健指導実施11件)【協会けんぽ】
	糖尿病の児童生徒が在籍する学校においては、保護者や医療機関との連携のもと、危機管理マニュアルを作成し、職員で共通理解し、対応に取り組んでいる。【小学校校長会】
施策4	糖尿病サマーキャンプ(肥後っ子スマイルサマーキャンプ)への支援【熊本県栄養士会】

2. 令和4年度からの関係機関・団体における新たな取り組み

具体的な内容 ※継続事業は記載の必要ありません。	
-----------------------------	--

3. 新型コロナウイルス感染症拡大防止に関連した取り組みの実績または今後の実施予定

新型コロナウイルス感染症対策関係の取り組み内容※1.2.と重複可。	<ul style="list-style-type: none"> ・支部保健師、管理栄養士によるICT遠隔面談の実施。【協会けんぽ】 ・感染拡大防止をはかる「3密」を防止する等新しい生活様式をお願いするパンフレット等を配布。【東区代表】
-----------------------------------	--

4. 令和3年度の行政における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	校区民児協定例会、8020推進員・食生活改善推進員の育成講座、校区単位の健康まちづくりの取り組みを通して、糖尿病やその予防等に関する情報提供を実施。
	幼児健診時に啓発モニターによる健康情報の発信や、保護者向けに朝食の大切さとバランスの良い食事、カルシウムの摂取についてのチラシを配布し啓発を実施。
	国保特定健診の結果、糖尿病の疑いがある未治療者に対して保健師による受診勧奨を実施(文書・電話・訪問)
	糖尿病の受診勧奨通知に生活習慣病リーフレットを同封。
	「世界糖尿病デー」に合わせ、本庁舎1階ロビーにて、糖尿病予防に関する展示を実施。
	FMくまもとのラジオ内で、糖尿病予防・重症化防止に関する情報を発信。
施策2	国保特定健診の結果、糖尿病の疑いがある未治療者に対して保健師や管理栄養士による指導及び受診勧奨を実施(文書・電話・面接・訪問)
	糖尿病の疑いがある要指導者に対し、保健指導を実施(電話・面接・訪問)
	糖尿病の早期発見のため、校区民児協定例会、8020推進員・食生活改善推進員の育成講座、校区単位の健康まちづくりの取り組みを通して、特定健診の受診啓発を実施。
	特定健診受診率向上及び保健指導利用率向上のため、国保加入者に対し、電話・ハガキによる受診勧奨(特定健診:電話20,567件・ハガキ50,710枚・SNS5,727件、特定保健指導:電4,0663件)
施策3	健康相談の実施。
施策3	糖尿病の要治療者に対して保健師や管理栄養士による受診勧奨を実施(文書・電話・家庭訪問等)。受診勧奨実績:特定健診受診結果より、HbA1c6.5%以上かつ糖尿病未治療者441人、HbA1c8.0以上かつ糖尿病未治療かつ血圧もしくは脂質で内服有と問診で回答した者31人、糖尿病治療中断者:15人

5. 令和4年度からの行政における新たな取り組み

具体的な内容 ※継続事業は記載の必要ありません。	<ul style="list-style-type: none"> ・年度末年齢75歳の特定健診受診者については後期高齢者になるため受診勧奨対象外としていたが、75歳についても受診勧奨(訪問、電話、通知等)を実施し、生活習慣病重症化の保健指導とともにフレイル予防についての情報提供を実施。 ・糖尿病治療中断者対策の対象者について健診未受診かつレセプト情報からインスリン処方があったが、直近6か月レセプトで受診が確認できない者への受診勧奨実施。 ・糖尿病治療中HbA1c10.0%以上の者への保健指導・治療状況確認実施。 ・受診勧奨対象者への支援とともに同居家族への健診受診勧奨、健診結果についての保健指導を実施。
新型コロナウイルス感染症対策関係の取り組み内容 ※4.5.と重複可。	おうち時間を楽しむための野菜料理や朝食レシピ、新型コロナウイルス感染症に負けない身体づくりのためにバランスの良い食事の食べ方を北区役所ロビーやSNSで発信。

1 生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底

取り組み項目	(4)CKD(慢性腎臓病)				
指標項目	11	新規人工透析者数の減少	基準値	実績値	目標値
			H23	R3	R5
			273人	278人	200人
取り組み施策	概要				
施策1 発症予防	CKDの発症予防のためCKDやその予防法について正しい理解(知識や技術等)の普及啓発を図る。				
施策2 早期発見	CKDやCKDの危険因子である糖尿病や高血圧などの早期発見のために、特定健診・職域での定期健診等の受診率向上や保健指導の徹底を行う。				
施策3 重症化防止	要医療者(腎機能悪化者、糖尿病者、重症高血圧者など)へ医療機関受診勧奨を行い、CKDや心血管疾患などの予防、進展抑制を図る。				
施策4 推進体制の強化	地域保健医療の連携体制、職域や地域コミュニティー等においてCKDの発症予防から悪化防止までの推進体制の整備を図る。				

1. 令和3年度の関係機関・団体における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	熊本シティFM放送健康サロンにて、「CKD(慢性腎不全)について」のテーマでアナウンス。【熊本県看護協会】
	市内3カ所で毎月「まちの保健室」を開催し、血圧測定や体脂肪測定などを実施し、生活習慣病等に関してパンフレット等を使用して説明、相談を受けている。令和3年度においては、新型コロナウイルス感染拡大の様子を見ながら開催。【熊本県看護協会】
	健診結果から、非肥満のため特定保健指導の対象とはならないものの、高血圧・高血糖状態にある者への文書・電話による保健指導、受診勧奨を実施。【協会けんぽ】
施策2	職場において、例年正規・非正規職員の全員が定期健康診断を受診し、検診指摘後のフォローを実施。【熊本県看護協会】
	職員に対して、毎年度実施される定期健康診断や、希望者への人間ドック受診など、積極的に健康管理に努めるよう促している。健康診断結果等についても、必要な職員については、受診や検査を促している。【小学校校長会】
	労働安全衛生法に基づく定期健康診断の確実な実施の履行確保【労働基準監督署】
施策3	要医療の児童生徒が在籍する学校では、保護者や医療機関との連携のもと、危機管理マニュアルを作成し、職員で共通理解し、対応に取り組んでいる。特に生活・運動制限がある児童生徒については、定期的に保護者や医療機関と連携を図り、児童生徒の状況に応じた適切な対応に努めたり、学校生活を安心して送れるよう、適宜相談等行いながら取り組んでいる。【小学校校長会】
施策4	

2. 令和4年度からの関係機関・団体における新たな取り組み

具体的な内容 ※継続事業は記載の必要ありません。	・CKD未治療者に対する重症度に応じた受診勧奨を実施。(委託業者による重症化分類と重症度に応じたDMの作成と発送、支部保健師による保健指導)【協会けんぽ】
-----------------------------	---

3. 新型コロナウイルス感染症拡大防止に関連した取り組みの実績または今後の実施予定

新型コロナウイルス感染症対策関係の取り組み内容※1.2と重複可。	
----------------------------------	--

4. 令和3年度の行政における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
	校区民児協定例会、8020推進員・食生活改善推進員の育成講座、校区単位の健康まちづくりの取り組みを通して、CKDやその予防等に関する情報提供を実施。
	国保特定健診の結果、CKDの疑いがある未治療者に対して保健師による受診勧奨を実施(文書・電話・訪問)

施策1	幼児健診時、保護者向けに朝食の大切さとバランスの良い食事、カルシウムの摂取についてのチラシを配布し啓発を実施。
	おうち時間を楽しむための野菜料理や朝食レシピ、新型コロナウイルス感染症に負けない身体づくりのためにバランスの良い食事の食べ方を北区役所ロビーやSNSで発信。
	世界腎臓デーに合わせ、熊本市中心市街地への懸垂幕掲出、熊本産交バスのラッピング車両、熊本市電内や停留所等へのポスターの掲示を実施。
	熊本市CKD対策協力企業及びくまもと健康企業会に属する企業へ、CKD啓発マグネットシートを送付し、社用車への貼付を依頼。
	市内の家庭や企業に配布される情報誌(熊日すばいす)に、CKDの予防やCKD病診連携システムに関する記事を掲載。(記事作成にあたり、熊本大学大学院腎臓内科栗原先生にご協力いただいた)
施策2	1歳半健診時、妊娠中尿蛋白陽性者(保護者)に対する検査キットを配布。
	特定健診受診率向上及び保健指導利用率向上のため、国保加入者に対し、電話・ハガキによる受診勧奨(特定健診:電話20,567件・ハガキ50,710枚・SNS5,727件、特定保健指導:電4,0663件)
	校区民生委員児童委員協議会定例会、8020推進員・食生活改善推進員の育成講座、校区単位の健康まちづくりの取り組み等を通して、特定健診の受診啓発を実施。
	健康相談の実施。
施策3	糖尿病の早期発見のため、校区民児協定例会、8020推進員・食生活改善推進員の育成講座、校区単位の健康まちづくりの取り組みを通して、特定健診の受診啓発を実施。
	CKDの要治療者に対して、保健師や管理栄養士による受診勧奨を実施(文書・電話・面接・訪問)。
施策4	国保特定健診の結果、CKDの疑いがある未治療者に対して保健師や管理栄養士による受診勧奨を実施(文書・電話・面接・訪問)また、CKDの疑いがある要指導者に対し、保健指導を実施(電話・面接・訪問)
施策4	CKD対策病診連携登録医に対し、YouTubeを活用した研修会を開催した。CKD連携医在籍医療機関132箇所から参加があった。(今年度より、国保年金課主催の生活習慣病重症化予防研修会と合同実施。)

5.令和4年度からの行政における新たな取り組み

具体的な内容 ※継続事業は記載の必要ありません。	<ul style="list-style-type: none"> ・年度末年齢75歳の特定健診受診者については後期高齢者になるため受診勧奨対象外としていたが、75歳についても受診勧奨(訪問、電話、通知等)を実施し、生活習慣病重症化の保健指導とともにフレイル予防についての情報提供を実施 ・受診勧奨対象者への支援とともに同居家族への健診受診勧奨、健診結果についての保健指導を実施 ・CKDに関する啓発業務を熊本大学腎臓内科及びスタディライフ熊本と協同し、若い世代への啓発を強化。 ・校区イベントにおいて、赤と青の風船を腎臓に見立て子どもたちへ配布し、保護者へ資料配布。 ・公立公民館が主催する「家庭教育学級」での啓発。 ・熊本市内全小学校で配布する「子ども新聞」に掲載。
-----------------------------	--

6.新型コロナウイルス感染症拡大防止に関連した取り組みの実績または今後の実施予定

新型コロナウイルス感染症対策関係の取り組み内容 ※4.5.と重複可。	<ul style="list-style-type: none"> ・おうち時間を楽しむための野菜料理や朝食レシピ、新型コロナウイルス感染症に負けない身体づくりのためにバランスの良い食事の食べ方を北区役所ロビーやSNSで発信。 ・CKD対策病診連携かかりつけ説明会をYouTubeを活用して実施。
---------------------------------------	---

2 社会生活を営むために必要な機能の維持及び向上

取り組み項目	(1)こころの健康					
指標項目	12	自殺者の減少(人口10万人当たり)	基準値	実績値	目標値	
			H17	R3	R5	
				19.3	13.6%	12.0
	13	睡眠を十分にとっている市民の割合	基準値	実績値	目標値	
			H24	R3	R5	
				53.3%	50.6%	68.7%
14	ストレスをためないよう気分転換を図っている市民の割合	基準値	実績値	目標値		
		H24	R3	R5		
			51.1%	44.1%	65.7%	
取り組み施策	概要					
施策1 早期発見や啓発等	こころの健康相談などを通して、うつ病の早期発見や早期治療につなげるとともに、市民への精神疾患についての啓発を行う。					
施策2 子どもたちのこころの健康	子どもたちのこころの健康保持と子どもたちを取り巻く関係者への児童思春期の精神保健等の理解の普及を図る。					
施策3 自殺対策	自殺対策として包括相談会や啓発等を行うとともに、関係者間の連携強化を図る。					

1.令和3年度の関係機関・団体における主な取り組み状況等

	具体的な内容等
施策1	熊本シティFM放送健康サロンにて、「うつ病の早期発見」のテーマでアナウンスした【熊本県看護協会】
	「コロナ禍における看護職のストレスマネジメント研修」の開催(参加者59名)【熊本県看護協会】
	若手看護職員を対象とし、心のレジリエンス、自分を大切にセルフケアの実践に関する研修会の開催(参加者28名)【熊本県看護協会】
	助産師を対象に「周産期を中心とした女性のメンタルヘルスケア」をテーマとして研修会を開催(参加者34名)【熊本県看護協会】
	4年生の体育科保健領域では、体の発育・発達について学ぶ。発育・発達については個人差があることを理解できるように取り組んでいる。【小学校校長会】
	5年生の体育科保健領域の「心の健康」では、心の発達や悩みへの対処について学習する。不安や悩みの対処には、大人や友達に相談する、仲間と遊ぶ、運動をするなどいろいろな方法があることについて理解を深める。【小学校校長会】
	毎月のきずなアンケート、年に数回行う心と体のアンケート、年1回の心のアンケート等をもとに、担任との教育相談、必要に応じて養護教諭との健康相談、SCとのカウンセリング、SSWとの相談など児童がいつでも相談できる体制を整え、心の健康を図っている。【小学校校長会】
	職員に対しては、管理職が積極的に声かけを行い、メンタル面の観察・配慮を行うとともに、相談しやすい環境整備に努めた。【小学校校長会】
施策2	事業場におけるストレスチェックの確実な実施を監督指導【労働基準監督署】
	「熊本こころの健康アドバイザー制度」の周知と利用勧奨【労働基準監督署】
	「虐待が子どもの脳に及ぼす影響」というテーマで、子どもに関わる職種対象に福井大学子どものこころ発達研究センターの友田明美教授の講演会開催(R3.7.19会場参加41名、オンラインアクセス数357件)【熊本県看護協会】
	園児のこころの安定を図るため、園内での健康状態の把握を基本に家庭での生活状況の把握をしっかりと行い、保護者との面談により園児一人一人の健康状態の把握に取り組んできた。【熊本市私立幼稚園・認定こども園協会】
小学校校長会	子供の心身の健康状態を把握し、校内での相談及び校外の相談機関(子供発達支援センター、児童相談所、保健子ども課、SC、SSW等)を活用した相談の充実を図っている。相談体制については児童及び保護者に周知するとともに、必要に応じて児童や保護者を相談につないだ。【小学校校長会】
	保護者との教育相談を実施し、学校と保護者が連携して子供の心の健康を図ることができるよう努めた。【小学校校長会】

施策3	毎日の健康観察をもとに、異常や変化を感じる時は、健康相談・保健指導の実施、保護者への連絡を丁寧に行った。【小学校校長会】
	夏休み明けは特に自殺等が心配な時期でもある。丁寧な心身の健康観察を実施するとともに、子供の変化の早期発見・早期対応につないだ。【小学校校長会】

2.令和4年度からの関係機関・団体における新たな取り組み

具体的な内容 ※継続事業は記載の必要ありません。	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症対応看護職員離職防止事業を実施し、就業継続に不安を抱える看護職の相談に対応し、必要に応じてキャリアカウンセリングや臨床心理士につないでいる。【熊本県看護協会】 日本看護協会からの委託により県看護協会が相談窓口を設置。(R4.10末現在31名に対応)【熊本県看護協会】
-----------------------------	--

3.新型コロナウイルス感染症拡大防止に関連した取り組みの実績または今後の実施予定

新型コロナウイルス感染症対策関係の取り組み内容※1.2と重複可。	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症対応看護職員離職防止事業(令和4年度からの取組)【熊本県看護協会】 感染症対策を徹底した上での教育活動が続いている。マスク生活を含む長期化するコロナ対応は、子供たちの心に負担がある。継続実施ではあるが、心身両面の丁寧な健康観察の実施、相談しやすい体制整備、保護者や関係機関等との連携を図り、子供の心の安定を図っていきたい。【小学校校長会】
----------------------------------	--

4.令和3年度の行政における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	精神的問題や育児不安等を抱える妊産婦に、産科医療機関と連携し妊娠中から訪問等の支援を実施。出産後も産後うつ等の産婦への訪問等を早期に実施し、切れ目のない支援を行っている。
	障がい保健福祉ネットワーク連絡会や地域生活移行支援会議等に参加し、情報交換、事例検討会を実施。
	市民へのこころの健康づくり講演会(1回参加者36人)。
	心の健康相談を1回/月実施。(精神科医による予約制の個別の面接相談等)
	精神障がい者地域生活移行支援部会等に参加し、情報交換を行った。
	障がい福祉ネットワーク会議や精神障がい者地域移行支援部会等に参加し、情報交換や事例検討を実施。
施策2	各校区の自治協・民協等の定例会において「心のケア」に関する相談先を紹介。
	思春期における精神保健福祉に関する研修会(思春期精神保健福祉研修会)を教育・医療・福祉関係者を対象に実施。(1回157人参加)
	学校におけるこころの健康についての環境整備や早期発見の取組として、児童生徒や保護者が悩み等を話せるようにスクールカウンセラー、心のサポート相談員の配置やスクールソーシャルワーカー、ユア・フレンドを派遣した(スクールカウンセラー相談数延べ13,083件、心のサポート相談員対応件数延べ5,872件、スクールソーシャルワーカー派遣数745件、ユア・フレンド派遣数2,203件)。 スクールカウンセラーは全中学校42校に配置してすべての小中学校に対応するとともに、地震による心のケアを必要とする児童生徒に対応できる体制をとった。また、スクールソーシャルワーカーは、16人体制で活動。
施策3	いじめの未然防止・早期発見に向け、実態を把握して早期解決を図るため小中学校の児童生徒を対象に、毎月1回「きずなアンケート」及び高校も含めた年1回の「心のアンケート」を実施。
	うつ病等の精神疾患の早期発見・早期治療を図るため、「かかりつけ医等心の健康対応力向上事業」を実施(県との合同事業)。
	SNS相談事業を令和3年6月11日～令和4年3月31日まで実施。
	精神科医師・心理士・保健師等による相談を実施(区役所等7,176件)。
	精神科医・弁護士等による包括相談会を実施(4回延べ44件)。 また自殺予防週間にあわせて時間を延長し、電話相談(延べ164件)を実施。
災害時のこころのケア研修会(2回延参加者数114人)、ゲートキーパー養成研修(2回延参加者数33人)、ふれあい出前講座等におけるゲートキーパーの啓発(9回延参加者数1842人※職員向け動画研修1,677含む)、自死遺族グループミーティング(7回延べ参加者数21人)、自殺予防研修会(1回参加者数126人)、自死遺族支援者研修会(1回参加者数26人)を実施。 自殺未遂者支援事業(電話130,メール5,手紙13,来所14,訪問22※すべて延べ件数)	

5.令和4年度からの行政における新たな取り組み

具体的な内容 ※継続事業は記載の必要ありません。	<ul style="list-style-type: none"> SNS相談事業の期間延長(R4.4.1開始)
-----------------------------	--

6.新型コロナウイルス感染症拡大防止に関連した取り組みの実績または今後の実施予定

新型コロナウイルス感染症対策関係の取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> SNS相談事業の継続。
-------------------------	---

2社会生活を営むために必要な機能の維持及び向上

取り組み項目	(2)次世代の健康					
指標項目	15	全出生数中の低出生体重児の割合の減少	基準値	実績値	目標値	
			H22	R2	R5	
			9.2%	8.8%	減少傾向へ	
	16	肥満傾向にある子どもの割合の減少 (小学校5年生の中等度・高度肥満傾向児の割合)	基準値	実績値	目標値	
			H23	R4	R5	
			男子 3.98%	7.50%	減少傾向へ	
				女子 2.92%	3.80%	減少傾向へ
	17	運動やスポーツを習慣的にしている子どもの割合の増加 (週に3日以上運動習慣のある小学5年生)	基準値	実績値	目標値	
			H23	R3	R5	
			男子 66.3%	54.0%	増加傾向へ	
				女子 41.4%	37.0%	増加傾向へ
	18	子どもたちが健やかに成長していると感じる市民の割合	基準値	実績値	目標値	
			H24	R3	R5	
			56.4%	63.7%	66.0%	
	19	子育てが楽しいと感じる市民の割合	基準値	実績値	目標値	
H24			R3	R5		
83.8%			84.6%	91.0%		
取り組み施策	概要					
施策1 早産予防	低出生体重児の減少を図るため妊娠前や妊娠期の心身の健康づくりを推進する。					
施策2 子どもの健康的な生活習慣の獲得	子どもの健やかな発育や生活習慣の形成のため、健康支援や子育て支援の充実を図るとともに、保育園や幼稚園、学校等、関係機関との連携強化を図る。					
施策3 子育てしやすい環境づくり	子育て中の親子が地域の中で安心して暮らしていただけるために、地域の子育て情報の提供や親子同士の交流を行うなど、地域での子育て支援の充実を図る。					
施策4 思春期等への支援	性感染症の予防など思春期等における健康づくりを行う。					

1.令和3年度の関係機関・団体における主な取り組み状況等

	具体的な内容等
施策1	熊本シティFM放送健康サロンにて、「妊娠中の喫煙や飲酒の及ぼす影響」のテーマでアナウンスした【熊本県看護協会】
施策2	学校薬剤師が各担当校からの依頼により、「早寝早起き朝ごはん」についての講演を行っている。【熊本市薬剤師会】
	学校保健委員会に参加し、健康教育への助言を行っている。【熊本市薬剤師会】
	園児や保護者に対してバランスの取れた食事をするように園便りや学級便りで知らせた。【熊本市私立幼稚園・認定こども園協会】
	園児の運動遊びを奨励し、体育活動を積極的に推進することで健康な体づくりに努めた。【熊本市私立幼稚園・認定こども園協会】
	内科健診や歯科検診の実施により、疾病等の早期発見に努めた。【熊本市私立幼稚園・認定こども園協会】
	園・学級通信等で保護者へ連絡を取り、園児の健康状態の把握・周知を図った。【熊本市私立幼稚園・認定こども園協会】
	怪我や病気にかかった場合、保護者連絡、病院への診察同行、保護者による受診依頼など適切に対応した。【熊本市私立幼稚園・認定こども園協会】
	各区役所保健子ども課との連携を図ることで、園児の健康相談はじめ児童虐待等の防止に努めた。【熊本市私立幼稚園・認定こども園協会】
	睡眠、食事、運動等の基本的な生活習慣及び性に関する指導等について、学級活動や3年生以上の体育科保健領域の授業等を通して学習し、習慣化・行動化に向けて実践を行っている。生活点検をもとに保護者と連携を図った。【小学校校長会】
	健康手帳を活用し、肥満傾向にある児童の生活習慣の指導を保護者と連携して進めた。生活リズムが崩れやすい長期休業には、生活点検カードを配布し、生活習慣の確立に向け、保護者と連携し指導した。【小学校校長会】

	コロナ禍での運動不足による体力低下を改善するため、体幹トレーニングの動画を作成し、児童が長期休業中も家庭で取り組めるようにタブレットに動画を配信し、取り組めるようにした。【小学校校長会】
施策3	「母子のための安心・安全な地域包括ケアシステムの実際～すべての妊産婦への助産師によるケアを届けるために～」をテーマに地域包括ケアに係る実施状況と助産師の役割について情報共有・情報提供を行った。(参加者60名)【熊本県看護協会】
	子ども医療電話相談事業(#8000)に係る電相相談に対応する看護師を紹介し、夜間等における小児救急患者の保護者等の不安の軽減・解消を図り、安心して子育てができる環境づくりを支援する。【熊本県看護協会】
	新入生保護者説明会や学級懇談会、保護者との教育相談では、就学や子育てに関する情報提供と支援を行った。【小学校校長会】
	各校区での「子育てクラブ」等を計画:東区役所保健子ども課、地域の保育園さん等の協力を得て、小さい(就学前)お子さんがいるお母さん同士お子さんと一緒に集まり、遊んだり、おしゃべりして楽しいひと時を過ごしていただくこと、「栄養」「運動」「社会参加」を3本柱とする「ビジョン」を基本に、方針として「ひとの子どもわが子もみんな地域の子&宝国の宝」の活動を計画。(コロナ禍により中止)【東区代表】
施策4	助産師職能委員会で、県下の高校・中学校・小学校に性教育出前授業を実施しており、「命の大切さ、心と体」のテーマで生命誕生や、性感染症について講義を行った。コロナ禍を勘案し、適宜オンラインを活用(17校22回)【熊本県看護協会】
	助産師職能委員会主催により、「女性の健康支援～プレコンセプションケアにおける助産師の役割～」を開催し、性教育とは異なる観点でのウィメンズヘルスの基盤となる研修を実施。(参加者会場2名、オンライン14名)【熊本県看護協会】

2.令和4年度からの関係機関・団体における新たな取り組み

具体的な内容 ※継続事業は記載の必要ありません。	
-----------------------------	--

3.新型コロナウイルス感染症拡大防止に関連した取り組みの実績または今後の実施予定

新型コロナウイルス感染症対策関係の取り組み内容※1.2と重複可。	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年1月25日(火)保育の安全研究・教育センター掛札逸美氏(心理学博士)を講師に迎え「保育・教育の価値とリスク、深刻事故予防」をテーマに、コロナ禍における保育所の役割、保護者との関わり方など含め園・保育者としての役割と対応を学ぶオンライン研修を実施。園と職員のコロナ対策予防についての内容の講演もあり。保育関係者150名が参加【熊本市保育園連盟】 新型コロナウイルス感染等に関する文科省や県・市からの通知の確認と周知、実施。【熊本市私立幼稚園・認定こども園協会】・設置者・園長会や定例理事会で私立幼稚園・認定こども園間の横の連携による情報収集をし、各園が予防に努めており、継続していく。【熊本市私立幼稚園・認定こども園協会】 手洗い、マスクの着用を励行し、新型コロナウイルス等に感染しないよう日常生活指導に努めた。【熊本市私立幼稚園・認定こども園協会】 継続実施であるが、新型コロナウイルス感染症の流行により、保護者には児童の健康状態の心配や登校させることへの不安等がある。健康状態への心配や不安がある場合には、学校に気軽に相談いただくよう周知している。【小学校校長会】 感染拡大防止をはかる「3密」を防止する等新しい生活様式をお願いするパンフレット等を配布。【東区代表】
----------------------------------	--

4.令和3年度の行政における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	母子手帳交付時保健師や栄養士等が面談し、妊娠期の健康づくりについて情報提供を行う。
	妊娠届出時に妊婦健康診査受診票を交付し、定期健診を受けられるようにする。
	母子(親子)健康手帳交付時に早産予防および妊娠期の異常の早期発見・対応についての資料を配布し、保健指導を実施。
	結婚・子育て応援サイトのQ&Aに妊娠期の過ごし方や健康管理について情報掲載。
	小学校を対象とした「わくわくチャレンジ長なわとびフェスタ」を11月～1月に開催。92校中56校が参加。目標値を達成できた学校、学級には表彰を実施。昨年度より参加校は16校増加。
	市役所各課および関係機関が実施する出前講座の一覧を作成・周知することで、生涯学習を通して子どもの健康や子育てを支援。

施策2	小学校4年生の肥満度20%以上の児童を対象に、市医師会と連携した生活習慣予防検診を11月～1月に実施。358人(対象者の51.7%)が受診。令和2年度はコロナ禍のため受診率が半数を下回ったが、令和3年度は50%を超えた。
	子育てサークルや中学校で、子どもの生活習慣・生活リズムについて健康教育を実施。(3回、延べ13人)
	幼児健診時に「早寝・早起き」等生活リズムについての啓発を実施。
	主任児童委員ブロック研修会(オンライン開催)にて、コロナ禍での母子の現状と支援等について共有し、地域の見守りや今後の母子への関わりに活かしてもらうことを目的に講話を実施。
	子育てネットワーク運営委員会は、ネットワーク活動の意義、他校区の情報、防災啓発のチラシ及びDVDを送付し書面会議で実施。
	食育実践講座を行い、乳幼児の食事について啓発を実施。
	北区の子どもの食育推進ネットワークで作成した「簡単にできる朝食レシピ」を関係機関に配布し、朝食の大切さを含めた啓発を実施。
	図書館発行のお便りに食育について掲載し、啓発を実施。
	公立保育園給食の食事計画評価とあわせて、身体状況・主食量調査を行い、肥満・やせ等の状況把握と個別指導法の検討、調査結果を基にした啓発を実施。
	在園児の心身の健康状態や疾病の把握のために、定期的に健康診断を行い、発育・発達に応じて保育に活用。
生活リズムや感染症予防、健康に関する情報について、「ほけんだより」や「食育だより」を発行し、保護者啓発を実施。	
施策3	子育て支援センター等の地域子育て支援拠点事業では、子育て親子の交流の場の提供と交流の促進、子育てに関する相談及び地域の子育て関連情報の提供を実施。
	学校のいじめ防止等対策委員会に保健師が出席し、情報交換を実施。(4校)
	子育てネットワーク連絡会で子育て世代の防災ブック作成のワークショップ開催(1回17名参加)子育て世代の防災ブック500部作成。
	校区の子育て支援ネットワーク会の実施。
	市民に対し、子育て応援マップ「るるらん」の配布と市ホームページの掲載を通じ、子育て支援ネットワーク活動の周知。
	くまもと森都心プラザ「プラザ図書館」内に子育て支援施設「駅前子育てひろば」を設置するための準備を行う。
	校区ごとに子育て支援マップを母子家庭訪問事業で配布。
家庭訪問や子育てサークル等で、子どもの成長確認、生活習慣・生活リズムについて健康教育を実施、保育園や幼稚園、学校等、関係機関との連携を図った。	
施策4	中学生向けエイズ・性感染症予防啓発用オリジナルDVDを作成し、パンフレットとともに配布 学校等へエイズ・性感染症に関するパンフレット等を提供 エイズ・性感染症に関する教育用DVDの貸出しを実施
	中学生を対象に妊婦子育て講演会を実施。また、生命の大切さや妊娠・出産、今必要な生活習慣について考える機会として健康教育を実施。
	特別支援学校の生徒を対象に、生命の大切さや妊娠・出産等について考える機会として健康教育及び体験学習を実施。

5. 令和4年度からの行政における新たな取り組み

具体的な内容 ※継続事業は記載の必要ありません。	北区の子どもの食育推進ネットワークで作成した「北区オリジナルランチョンマット」を関係機関に配布し、バランスの良い食事や野菜好きになる子どもを増やすための啓発を実施。
-----------------------------	--

6. 新型コロナウイルス感染症拡大防止に関連した取り組みの実績または今後の実施予定

新型コロナウイルス感染症対策関係の取り組み内容※4.5.と重複可。	<ul style="list-style-type: none"> 小児生活習慣病予防検診の1回の受診者を減らし、検診回数を増やして対応。 オンラインを活用した出前講座などを実施予定。 おうち時間を楽しむための野菜料理や朝食レシピ、新型コロナウイルス感染症に負けない身体づくりのためにバランスの良い食事の食べ方を北区役所ロビーやSNSで発信。
-----------------------------------	---

2社会生活を営むために必要な機能の維持及び向上

取り組み項目	(3)働き盛り世代の健康					
指標項目	7	特定健康診査の受診率・特定保健指導実施率の向上	基準値		実績値	目標値
			H23		R3	R5
			診査受診率	25.8%	28.8%	60.0%
			指導実施率	16.8%	12.6%	60.0%
取り組み施策	概要					
施策1 若いころからの健康意識の醸成	校区における健康まちづくりの推進組織と職域保健、その他の関係団体、行政等が連携を図り、働き盛りの若い世代への健康に関する普及啓発を行う。					
施策2 生活習慣病の発症予防	関係機関が連携し、特定健康診査やがん検診等の必要性や受診方法等についての情報提供を行い、生活習慣病の発症予防に取り組む。					
施策3 働き盛り世代のこころの健康	市民へうつ病等の精神疾患に関する啓発を進めるとともに、ストレスの原因となる長時間労働や失業等の社会要因に対しては労働関係機関との連携を図り、働きざかりのこころの健康づくりを進める。					

1.令和3年度の関係機関・団体における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	健康経営優良法人に向けたサポートを行う(セミナーの実施等)。認定申請事業所数186社。【協会けんぽ】 事業所特有の健康課題を把握し、健康増進への取組を促進するため、事業所単位の健診結果等分析シート(事業所カルテ)を提供。【協会けんぽ】
施策2	地域の定期健康診断日は、学校敷地を利用可とし、地域に開放している学校もある。【小学校校長会】 定期健康診断結果を反映した生活習慣病予防等の健康保持増進を指導【労働基準監督署】
施策3	健康で働き続けられる労働環境づくりを支援するために「コロナ禍における看護職のストレスマネジメント研修」の開催。(再掲)(参加者59名)【熊本県看護協会】
	健康で働き続けられる労働環境づくりを支援するために「若手看護職員リフレッシュ研修会」を開催。(オンライン参加26名)【熊本県看護協会】
	ヘルシーワークプレイス(安全で健康な職場)研修会において、「ハラスメントについて」をテーマに研修会をオンラインで開催。(参加看護職員27名)【熊本県看護協会】
	毎月実施される職員対象の「精神科医・臨床心理士による相談」の日程を掲示し、職員に周知した。【小学校校長会】 毎年ストレスチェックを行い、自己の結果分析、職場としての課題の把握、課題解決に向けた取組を実施。結果についても報告し、安心して働ける職場づくりや相談体制を構築するよう努めた。【小学校校長会】 事業場におけるストレスチェックの確実な実施を監督指導【労働基準監督署】 「熊本こころの健康アドバイザー制度」の周知と利用勧奨【労働基準監督署】

2.令和4年度からの関係機関・団体における新たな取り組み

具体的な内容※継続事業は記載の必要ありません。	
-------------------------	--

3.新型コロナウイルス感染症拡大防止に関連した取り組みの実績または今後の実施予定

<p>新型コロナウイルス感染症対策関係の取り組み内容※1.2.と重複可。</p>	<p>・「職場における新型コロナウイルス感染症対策実施のため取組の5つのポイント」の周知と実施 奨励【労働基準監督署】・「職場における新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するためのチェックリスト」の配布と活用奨励【労働基準監督署】</p>
--	--

4.令和3年度の行政における主な取り組み状況等

<p style="text-align: center;">具体的な内容等</p>	
<p>施策1</p>	<p>地域の会議や健康教育等において、がん検診や特定健診の受診奨励を実施。</p>
	<p>西区健康センターに啓発モニターを設置し、子育て中の若い世代をターゲットにへ西区の健康課題や健康情報を発信。</p>
	<p>北区管内の図書館(室)と連携して野菜をテーマにした企画展を開催。</p>
	<p>食育月間に区役所ロビーにてパネル展示やレシピを配布。</p>
	<p>北区で作成した野菜摂取促進ポスターを管内の各種団体で掲示してもらい啓発を実施。特に保育園等で行うことで働き盛り世代への啓発につながった。</p>
	<p>「熊本市北区発！農家めしプロジェクト」として、北区の農家の方に野菜レシピを紹介してもらい北東部農業振興センター、植木まちづくりセンターと連携し野菜の普及及び摂取促進の啓発を実施。</p>
	<p>食育講座として若い世代へ正しい食事の摂り方について啓発を実施。</p>
	<p>幼児健診時、保護者向けに朝食の大切さとバランスの良い食事、カルシウムの摂取についてのチラシ、栄養成分表示の見方のチラシを配布し啓発を実施。</p>
<p>施策2</p>	<p>熊本市役所各課および関係機関が実施する出前講座の一覧を作成・周知することで、生涯学習を通して生活習慣病予防を支援。</p>
	<p>地域の会議や健康教育等において、がん検診や特定健診の受診奨励を実施。</p>
	<p>校区単位の健康まちづくりとして、保健子ども課、まちづくりセンター、ささえりあで「校区健康カルテ検討会」を開催し、そこでは「校区健康カルテ」と、校区保健師が分析した結果や課題等について、共有と協議を行い、それぞれの活動の視点から健康情報や地区組織とどのように協働で健康づくりを進めていくかななどを共有した。</p>
<p>施策3</p>	<p>市民へのこころの健康の啓発として、講演会の開催やのパンフレット配布、市政だより、ホームページを活用した啓発の実施。市民へのこころの健康づくり講演会(1回参加者36人)。</p>
	<p>市民や地域の支援者に対し、ストレスに関する講話を実施(3回延参加者86人)。</p>
	<p>産業保健総合支援センター、依存症相談拠点機関(熊本県精神保健福祉センター・当センター)、依存症治療拠点機関(益城病院、菊陽病院)主催で、産業医や労務担当者等を対象にアルコール・ギャンブル依存症に関する研修会を実施(2回189人)。</p>

5.令和4年度からの行政における新たな取り組み

<p>具体的な内容※継続事業は記載の必要ありません。</p>	<p>幼児の頃から薄味に慣れ将来の生活習慣病を予防し、その保護者も子どもの味付けをきつかけに減塩に取り組むため、3歳児健康診査対象者に子どものみそ汁の塩分濃度を通した啓発を実施。【北区保健子ども課】市民の自主的な健康づくり活動を促すため、市ホームページ内にウォーキングに特化したサイトを開設した。【健康づくり推進課】市民の歩行を促すため、熊本健康アプリに「スタンプラリー」機能を追加した。【健康づくり推進課】</p>
--------------------------------	--

6.新型コロナウイルス感染症拡大防止に関連した取り組みの実績または今後の実施予定

<p>新型コロナウイルス感染症対策関係の取り組み内容※4.5.と重複可。</p>	<p>おうち時間を楽しむための野菜料理や朝食レシピ、新型コロナウイルス感染症に負けない身体づくりのためにバランスの良い食事の食べ方を北区役所ロビーやSNSで発信した。</p>
--	---

2社会生活を営むために必要な機能の維持及び向上

取り組み項目	(4) 高齢者の健康				
指標項目	20	65歳以上の元気な高齢者の割合	基準値	実績値	目標値
			H22	R3	R5
			80.6%	78.94%	78.46%
	21	認知機能低下ハイリスク高齢者の把握率の向上	基準値	実績値	目標値
			H22	指標廃止	
			0.4%		
	22	ロコモティブシンドローム(運動器症候群)を認知している市民の割合の増加	基準値	実績値	目標値
			H27	H30	R5
			50.3%	51.6%	80.0%
	23	二次予防事業利用者の見込み	基準値	実績値	目標値
			H23	指標廃止	
			1,048人		
取り組み施策	概要				
施策1 元気高齢者の増加	高齢者の健康づくりに関する食や運動(ロコモティブシンドローム予防)、口腔保健などの情報提供等を行い、高齢者の健康増進を図る。				
施策2 介護予防	要介護状態にならないよう、介護予防に関する支援体制の充実等を図る。				
施策3 認知症高齢者支援	認知症の早期発見や早期治療を推進するとともに、認知症高齢者や家族の相談体制の整備等を図る。				

1.令和3年度の関係機関・団体における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	「高年齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン(=エイジフレンドリーガイドライン)」の周知及び実施勧奨【労働基準監督署】
	熊本市発行の「食のきほん」「運動手帖3種」「運動機能向上」「通いの場」等を配布し、生活不活発病予防に努めた。【東区代表】
	いきいき健康サロン(高齢者サロン)の実施。(25町内中17町内で実施)【北区代表】
施策2	ささえりあ主催の地域連携会議に参加し、介護各職種との連携を行っている。【熊本市薬剤師会】
	一般市民及び医療・保健・福祉関係者を対象に、「看護がつなぐ地域包括ケアフォーラム」を開催し、コロナ禍における関係機関および住民組織の取組についてのシンポジウムを実施(オンライン参加130名会場参加19名)【熊本県看護協会】
	「高齢者の暮らしを支える看護職連携・多職種連携の実際」についてオンデマンド研修を開催(参加者48名)【熊本県看護協会】
	各校区等にて「健康教室」を計画していたが、昨年来のコロナ禍が収束しない為、継続的な展開が出来なかった。【東区代表】
施策3	がん発症につながる生活習慣病、介護、認知症等の予防には「栄養」「運動」「社会参加」が重要と考え、この3本柱を基本として、サロン活動等を計画していたが、コロナ禍で継続的な活動が出来なかった。【東区代表】
	認知症高齢者に関わる訪問看護師を対象に「認知症の基礎知識とケア・家族支援」について研修会を開催(参加看護職25名)【熊本県看護協会】
	「まちの保健室」で健康相談を行うボランティアを対象とした研修会において、「健康相談に役立つ認知症の知識」をテーマに研修会・交流会を開催(参加者30名)【熊本県看護協会】
	「認知症高齢者の看護実践に必要な知識」のテーマで研修を3回開催し、認知症ケアに活かした(参加者216名)【熊本県看護協会】
	認知症の人や家族を支えるための「熊本県市看護職員認知症対応向上研修」を開催。医療機関内全体で認知症の人の生活環境の維持・向上を維持することを目指し、研修修了者は同じ医療機関等の看護師に対し伝達を行う。(参加看護職員33名)【熊本県看護協会】

2.令和4年度からの関係機関・団体における新たな取り組み

<p>具体的な内容※継続事業は記載の必要ありません。</p>	<p>・老人クラブと連携し、地域での児童の登下校の見守りをお願いしている。顔の見える関係性を築き、子供たちは安心して登校するとともに、老人クラブの皆様には子供たちの元気な声を届け、子供たちの健やかな成長を育んでいただいている。【小学校校長会】</p>
--------------------------------	---

3.新型コロナウイルス感染症拡大防止に関連した取り組みの実績または今後の実施予定

<p>新型コロナウイルス感染症対策関係の取り組み内容※1.2と重複可。</p>	<p>・「職場における新型コロナウイルス感染症対策実施のため取組の5つのポイント」の周知と実施 勸奨【労働基準監督署】・「職場における新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するためのチェックリスト」の配布と活用 勸奨【労働基準監督署】・感染拡大防止をはかる「3密」を防止する等新しい生活様式をお願いするパンフレット等を配布した。【東区代表】</p>
---	---

4.令和3年度の行政における主な取り組み状況等

<p>具体的な内容等</p>	
<p>施策1</p>	<p>市役所各課および関係機関が実施する出前講座の一覧を作成・周知することで、生涯学習を通して高齢者の健康を支援。</p>
	<p>高齢者サロン、老人会、会議等で口腔機能維持・栄養指導や運動(ロコモ予防)や新型コロナ感染症予防について健康教育を実施。</p>
	<p>高齢者サロン等で高齢者の健康づくりに関する食や運動(ロコモティブシンドローム予防)、口腔保健などの情報提供等を行い、高齢者の健康増進を図った。</p>
	<p>65～74歳には特定健診、75歳以上には後期高齢者健診・歯科口腔健診を実施。</p>
	<p>高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に係る健康教室を開催。体力測定ならびに後期高齢者の質問票を活用して健康状態を把握し、結果に基づいたフレイル予防(栄養・運動・社会参加、健診受診)についての健康講話を実施。</p>
	<p>高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施として、後期高齢者健診結果により生活習慣病の重症化リスクの高い方への訪問等による個別の保健指導の実施。</p>
	<p>高齢者のフレイル(心身の虚弱)予防を目的に「レッツトライ運動手帖」を作成・配布。テレビやラジオ・広報誌等を利用し市の介護予防事業を周知広報。</p>
	<p>校区民生委員児童委員協議会定例会等の会議、校区単位の健康まちづくりの取り組みを通して、要介護状態にならないための生活習慣病予防について啓発。</p>
	<p>おうち時間を楽しむための野菜料理や朝食レシピ、新型コロナウイルス感染症に負けない身体づくりのためにバランスの良い食事の食べ方を北区役所ロビーやSNSで発信した。</p>
<p>施策2</p>	<p>市役所各課および関係機関が実施する出前講座の一覧を作成・周知することで、生涯学習を通して介護予防を支援している。</p>
	<p>高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施として、後期高齢者健診結果によりフレイル(低栄養)リスクの高い方に対し、地域支援事業(短期集中予防サービス)を案内し利用に繋げた。また短期集中予防サービス利用後に改善に至っていないものについては別途個別訪問による継続支援を実施。</p>
	<p>住民主体の介護予防活動「くまもと元気くらぶ」に対する活動費等の補助、リハビリテーション専門職を派遣し運動指導、体力測定等の支援を実施。(68団体を支援)また、新型コロナウイルス感染症の感染防止等の観点から、地域の通いの場へ専門職を派遣することが難しい場合などにはオンラインで体操指導ができるような環境整備を行った。</p>
	<p>運動機能や口腔機能、栄養状態の低下等が認められた方を対象に短期・集中的に専門職等による支援プログラムを実施し早期自立・重度化防止を推進し介護予防を図る。また、サービス後についても、自宅でできるプログラムの指導やささえりあ等と連携し地域の通いの場の参加につなげるなど、継続的な介護予防の取組みとなるよう支援。</p>
	<p>住民主体による生活支援等の活動「地域支え合い型サービス」に対する支援を実施。(訪問型サービス:4団体、移動支援サービス:3団体、通所型サービス:25団体)</p>
	<p>市役所各課および関係機関が実施する出前講座の一覧を作成・周知することで、生涯学習を通して認知症への理解促進を支援している。</p>
	<p>認知症について正しく理解し、認知症の方や家族を見守る「認知症サポーター」を養成するための講座を実施している。(R3年度認知症サポーター養成数3,868人)</p>

施策3	<p>熊本県・市が共同で県医師会・県薬剤師会・県歯科医師会に委託し、認知症対応力向上研修を実施。令和2年度は新型コロナウイルス感染症のため中止となったが、令和3年度からはオンラインを活用した研修を実施している。</p>
	<p>熊本県・市が共同で認知症の人と家族の会に認知症コールセンターを委託しており、認知症の人や家族からの相談を受け付けている。(R3年度:1,169件うち熊本市:697件)また、家族交流会やシンポジウム、世界アルツハイマーデーでの認知症普及・啓発活動も行っている。</p>
	<p>認知症に関する鑑別診断、周辺症状および身体合併症に対する急性期医療、専門医療相談等の実施ならびに地域における保健医療および介護関係者への研修を行うことにより、地域において認知症に対して進行予防から地域生活の維持まで必要となる医療を提供できる機能体制の構築を図ることを目的に、熊本市認知症疾患医療センターを設置している。</p>

5.令和4年度からの行政における新たな取り組み

<p>具体的な内容 ※継続事業は記載の必要ありません。</p>	<p>・高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施として、健康状態が不明な高齢者や閉じこもりの可能性がある高齢者等の健康状態や心身機能を把握し、必要なサービスへの接続を開始。・高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施として、後期高齢者健診の結果から口腔機能低下のリスクの高い方に対しても、地域支援事業(短期集中予防サービス)への案内を開始。</p>
	<p>・住民主体の介護予防活動「くまもと元気くらぶ」の活動を支援しているが、団体の運営者が高齢者であることから、助成金等の事務手続きをサポートする取り組みを実施し、活動の継続や団体数の増加を目指している。</p>

6.新型コロナウイルス感染症拡大防止に関連した取り組みの実績または今後の実施予定

<p>新型コロナウイルス感染症対策関係の取り組み内容※4.5.と重複可。</p>	<p>・住民主体で介護予防活動に定期的に取り組む「くまもと元気くらぶ」に対し、リハビリテーション専門職を派遣し、体操指導、体力測定等を行っているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、リハビリテーション専門職がオンラインで指導を行えるような環境整備を実施。また、併せて地域住民主体の「通いの場」同士をオンラインでつなぎ、体操指導や交流を図る取り組みについてもオンラインの環境整備に支援を実施。</p>
	<p>・おうち時間を楽しむための野菜料理や朝食レシピ、新型コロナウイルス感染症に負けない身体づくりのためにバランスの良い食事の食べ方を北区役所ロビーやSNSで発信。</p>

3健康づくりを進める生活習慣の改善と環境づくり

取り組み項目	(1) 栄養・食生活						
指標項目	24	適正体重を維持している者の増加(40歳～60歳代男性・女性の肥満者の割合の減少)	基準値		実績値	目標値	
			H23		R3	H34	
			男性	31.7%	20.1%	28.0%	
			女性	17.7%	38.9%	14.0%	
	25	健全な食生活が実践できる市民の割合	基準値		実績値	目標値	
			H24		R3	R5	
			54.8%		43.7%	79.0%	
	26	共食の増加(食事を1人で食べる子どもの割合の減少)	基準値		実績値	目標値	
			H24		H30	R5	
			朝食	小学生	16.7%	14.4%	減少傾向へ
				中学生	24.3%	24.6%	減少傾向へ
			夕食	小学生	5.2%	4.2%	減少傾向へ
				中学生	11.1%	15.9%	減少傾向へ
27	20、30代男性の1週間あたりの朝食の欠食率の減少	基準値		実績値	目標値		
		H24		H30	R5		
		20歳代	29.4%	20.0%	15.0%		
		30歳代	29.4%	26.5%	15.0%		
取り組み施策		概要					
施策1	食育への理解と食育活動の実践	広く市民を対象とした食育事業の取り組みを継続するとともに、ターゲットを絞った食生活改善のための講座を関係団体と連携を図りながら推進する。					
施策2	食育活動の実践のための食環境整備	栄養成分表示や減塩食普及などのヘルシーメニューを提供して市民の健康づくりを応援する飲食店等の増加に努め、食の環境整備を図る。					

1. 令和3年度の関係機関・団体における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	保育所等の関係者を対象とした「尚綱乳幼児食育研究会」を2回開催した。【尚綱大学】
	天草地区漁業士会と連携した尚綱食育の日「お魚の日」を開催し、鯛めし等を学食で提供や魚食に関するアンケートを実施した。【尚綱大学】
	学生を対象とした「尚綱ガールズ豆腐レシピコンテスト」を実施した。【尚綱大学】
	栄養士会、理学療法士会との協働により「サルコペニア・フレイル予防のシンポジウムを開催。当協会から摂食・嚥下障害認定看護師を派遣した。【熊本県看護協会】
	キャリアアップ研修令和3年6月19日(土)・7月10日(土)・令和4年1月22日(土)「食育・アレルギー対応」分野3回実施。尚綱大学短期大学部本田順子氏、国立病院小児科医長緒方美佳氏を講師とし、くまもと県民交流館パレアおよびオンラインにて実施。修了者保育関係者54名【熊本市保育園連盟】
	熊本市健康福祉局子ども未来部保育幼稚園課林加代子氏を講師に迎え、「離乳食～幼児食保育園で必要な栄養素を見直そう」をテーマに、中央公民館において講話。保育関係者14名参加。【熊本市保育園連盟】
	ホシザキ南九株式会社上山崎誠氏を講師に迎え、「給食における衛生管理について」をテーマにホシザキ南九において講話。保育関係者12名参加。【熊本市保育園連盟】
	尚綱大学准教授川上育代氏を講師に迎え、食育で育てたい「食べる力」をテーマに南部公民館において講話。保育関係者11名参加。【熊本市保育園連盟】

	食に関する指導年間計画のもと、給食を教材として、担任が食に関する指導を行った。【小学校校長会】
	養護教諭や栄養教諭が体育科保健領域の授業や食に関する指導を通して、食育を計画的に実施した。【小学校校長会】
	食育だよりや保健だより等を通して、保護者へ食育の取組や大切さの啓発を行ってきた。【小学校校長会】
	苦手な野菜にチャレンジする取組を親子で長期休業中に計画した。様々なアレンジ料理に親子で挑戦し、取組を学校から紹介した。食に関する意識を高めることにつながっている。【小学校校長会】
	食育の推進を目的として、くまもと地魚マスター福島英雄氏を講師に迎え、熊本で獲れる魚のおいしさやさばき方など、魚に関する食文化を少しでも多くの人に理解してもらうために、おさかな料理教室を2回開催した。【熊本地方卸売市場】
	町内単位で食生活改善の健康学習会(塩分測定)の実施。【北区代表】
施策2	情報誌(フリーペーパー)に「旬の野菜を使ったレシピ」を提供【熊本県栄養士会】
	飲食店に対して健康に配慮したメニュー提供に関する支援を実施【熊本県栄養士会】
	養護教諭や栄養教諭を中心に、健康手帳を活用し、肥満傾向にある児童への食生活についての指導を行った。また、保護者との連携にも取り組んだ。【小学校校長会】

2.令和4年度からの関係機関・団体における新たな取り組み

具体的な内容※継続事業は記載の必要ありません。	
-------------------------	--

3.新型コロナウイルス感染症拡大防止に関連した取り組みの実績または今後の実施予定

新型コロナウイルス感染症対策関係の取り組み内容※1.2と重複可。	・令和3年5月12日(水)保健所食品保健課上野明日香氏を講師に迎え、「コロナ禍における衛生について」をテーマに清水公民館において講話。加盟園12ヶ園参加。【熊本市保育園連盟】
----------------------------------	---

4.令和3年度の行政における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
	食育実践講座の実施、栄養成分表示の啓発。
	食育月間に崇城大学や区役所ロビーにて食育月間啓発パネルの展示及びレシピを配布。
	公立保育所給食を食育媒体とした年齢・発達に応じた食育活動を年間を通じて実施。
	「食育だより」等による健全な食生活・乳幼児期の食育等に関する保護者への啓発を実施(食育だより発行:年13回)
	和食の日(11月24日)に合わせて、「だしで味わう和食の日」の取組として、和食メニューの提供、だしの飲み比べや鰹節削り体験等を実施。
	地産地消の推進のため、オンライン及び対面での地産地消フェアを開催することにより、市民が熊本県産の農水産物に触れ親しむ機会を創出した。
	離乳食のすすめ方について、区のホームページに掲載し、離乳食レシピや離乳食に関するQ&Aなどより実践的な情報提供を実施。また、育児サークルや子育て支援センター等で、離乳食の進め方等について講話を実施。
	幼児健診で、栄養成分表示の活用法など、チラシを活用し普及啓発を実施。
	大学生に対し、オンラインで防災食育を実施。
	郷土料理のレシピを東区ホームページ及び熊本市公式YouTubeにて発信し情報提供を実施。
	「南区らく飯」として簡単野菜料理の動画を作成しSNSで発信。
	北区の子どもの食育推進ネットワークで作成した「簡単にできる朝食レシピ」を関係機関に配布し、朝食の大切さを含めた啓発を実施。

施策1

北区管内の図書館(室)と連携して、食育月間(6月)と野菜(8月)をテーマにした企画展を開催した。
北区で作成した野菜摂取促進ポスターを管内の各種団体で掲示してもらい啓発を図った。特に保育園等で行うことで働き盛り世代への啓発につながった。
「熊本市北区発！農家めしプロジェクト」として、北区の農家の方に野菜レシピを紹介してもらい北東部農業振興センター、植木まちづくりセンターと連携し野菜の普及及び摂取促進の啓発を図った。
北区役所庁舎に来庁される市民とそこで働く職員の健康づくりのために、階段利用促進の啓発資料として、消費されるエネルギーを掲示し、食生活を見直すきっかけになっている。
幼児のための食育講座：育児サークルや子育て支援センター等で、幼児期の食生活やおやつの与え方について講話を実施。
大学生のための食育実践講座：食生活の乱れが著しい世代に対して、大学等と連携し、食生活に関する啓発を実施。
働きざかり世代のための食育実践講座：事業所や区役所職員等を対象にした講座を開催。
すこやか食生活改善講習会：小学校区ごとに生活習慣病予防を目的とした献立の普及を図る、講話と調理実習を実施。例年92校区全てで開催していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、校区を46校区、参加人数を10人に縮小して実施。(累計53,752人)
食事バランスガイドの啓発：講座等において、食事バランスガイドの啓発を行い、食事の組み合わせと日本型食生活の定着を図った。(啓発数1,500人)
食育月間等における啓発：6月の「食育月間」や毎月19日の「食育の日」にパネル展示や資料及び食育月間啓発チラシ等の配布での啓発を行い、広く市民に食育を周知し機運の醸成を図った。
ホームページ「くまもとの食」での情報提供：食の安全安心と食育についての情報提供を実施。(HPアクセス数127,543人)
幼児期の共食の重要性の啓発：1歳6か月児健康診査等において、共食についての啓発資料の配布し、コロナ禍においても共食についての重要性について周知。(啓発数5,662人)
郷土料理の食のホームページ掲載：郷土料理、祭事料理をホームページ「くまもとの食」に掲載し発信。

施策2

食品関連事業者等が実施する食育活動支援事業：事業者支援4施設。
農水産物直販所の出荷情報等を発信する直売所アプリ「FarmPost」(ファームポスト)を導入することにより、市民の直売所利用を促進することで、地産地消を推進した。
栄養成分表示の啓発：講座等において、食事バランスガイドの啓発を行い、食事の組み合わせと日本型食生活の定着を図った。(啓発数11,690人)
食育に関する全市的広報：新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、対面での食育の実施が制約を受けたため、市政だよりや、市ホームページ、テレビ、ラジオ、YouTubeやLINE等を使った啓発に注力した。
熊本市子どもの食育推進ネットワーク：子どもの食育を推進するため、関係機関によるネットワークを構築し、連携を図りながら食育推進運動を展開(加入団体423団体)
熊本市子どもの食育推進ネットワーク全体研修会：「発達障害児の特徴と食の支援・かわりについて」の演題で、講演会をオンラインで開催。(229施設、449人参加)。2回目の研修会は2つの講話をYouTubeで配信。(動画視聴数338回)
熊本市子どもの食育推進ネットワーク地域研修会：区毎に、地域での食育活動の活発化のため、メンバーの連携強化と、情報交換、資質向上のための研修会を開催。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため書面で情報提供や、意見集約等を実施。

5. 令和4年度からの行政における新たな取り組み

<p>具体的な内容 ※継続事業は記載の必要ありません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・防災食育として、パッククッキング地域講習会(8回)を令和元年度以来3年ぶりに実施し、調理実習あるいはデモンストレーションを通して、市民にパッククッキングの調理法を啓発している。また西区保健子ども課で作成した「災害に備えた家庭の食品備蓄ガイド」「我が家の備蓄食品チェックリスト」を配布し、備蓄についての啓発も実施。 ・幼児の頃から薄味に慣れ将来の生活習慣病を予防し、その保護者も子どもの味付けをきっかけに減塩に取り組むため、3歳児健康診査対象者に子どものみそ汁の塩分濃度を通した啓発を実施。【西区保健子ども課】 ・味の素㈱等と連携し、市役所地下食堂で「健康！だし唐揚げ定食」を販売し、減塩の啓発に取り組んだ。【健康づくり推進課】 ・市長や学生(10人)と食育の重要性などに関する意見交換を行った。【健康づくり推進課】
-------------------------------------	---

6. 新型コロナウイルス感染症拡大防止に関連した取り組みの実績または今後の実施予定

<p>新型コロナウイルス感染症対策関係の取り組み内容※4.5.と重複可。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止に関連した取組として、コロナ禍において消費者に熊本の農産物の魅力に触れていただくため、期間限定の通販サイト「くまもと収穫祭」を開設。熊本県内への送料は無料とし、非対面式の地産地消フェアを開催。(開催期間R3.4.2～R3.6.30)</p>
	<p>自宅で過ごす時間が増えたことを受け、毎月発行する「食育だより」において、「親子で作れるおすすめレシピ」や「家庭のできる食育」を紹介し、家庭保育に伴う乳幼児期の子どもと保護者へ情報提供を実施。</p>
	<p>おうち時間を楽しむための野菜料理や朝食レシピ、新型コロナウイルス感染症に負けない身体づくりのためにバランスの良い食事の食べ方を北区役所ロビーやSNSで発信。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・離乳食の作り方を解説した、「Lets離乳食クッキング」の動画制作と熊本市YouTube配信。 ・市民が健康な体を作るために必要な食生活の基礎知識を得、健全な食生活を送ることができるようにするため、動画「おとなの食育教室」を制作し配信。 ・保育所栄養士が「和食の日」と、様々なだしについて子供に伝える動画、食事バランスガイド体操を「こどものしょくいきょうしつ」として制作し配信。 ・生活習慣病予防のためのバランスのとれた献立と、簡単に手作りできるおやつについて、レシピ動画「おいしいヘルシーレシピ」の動画作成と熊本市YouTube配信。 ・市民の野菜摂取量の増加、食育に関心のある市民の増加、進んで地元農産物を購入する市民の増加を目的に、簡単副菜レシピ2品を、市LINEと食のホームページに掲載し、啓発を実施。 ・コロナ禍における家庭での生活リズムの確立を支援するため、食育月間の6月に、子どもの食育推進ネットワークで作成した「はやね・はやおき・朝ごはんカード」の取組を実施。 ・コロナ禍で家庭での食事の機械が増加している中、料理作りや料理のお手伝いに活用できる教材として「子どもの食育推進ネットワークレシピ集」を配付。

3健康づくりを進める生活習慣の改善と環境づくり

取り組み項目	(2) 身体活動・運動						
指標項目	28	日常生活における歩数の増加	基準値		実績値	目標値	
			H27		H30	R5	
			20歳～64歳	男性	8,262歩	8,397歩	9,000歩
				女性	8,058歩	9,302歩	9,500歩
		65歳以上	男性	6,859歩	5,761歩	7,000歩	
			女性	7,053歩	8,656歩	9,000歩	
29	1回30分以上の運動(ウォーキング等)を週1回程度以上している市民の割合	基準値		実績値	目標値		
		H24		R3	R5		
		52.7%		51.6%	62.0%		
取り組み施策	概要						
施策1 運動習慣の定着化に向けた取り組みの推進	生活習慣病予防や健康増進のため、市民の運動習慣の定着を図る。						
施策2 運動にしやすい環境づくり	市民の健康増進のために運動にしやすい環境づくりを行う。						

1. 令和3年度の関係機関・団体における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	協会会員の健康支援を目的とし福利厚生として熊本市内スポーツクラブと提携し運動を進めており、R3.10から健康支援プログラムのオンライン配信を開始(令和3年度登録者約50名視聴数延2,584回) 【熊本県看護協会】
	3年生以上の体育科保健領域の授業で、心や体の健康と運動の関連について学習をしている。【小学校校長会】
	体育の授業や休み時間等における外遊びや運動量の確保に努めてきた。【小学校校長会】
	長期休業中に体幹トレーニングに取り組んだ。(動画を作成し、児童のタブレットに送り、家庭でも取り組めるようにした。)【小学校校長会】
	がん発症につながる生活習慣病、介護、認知症等の予防には「栄養」「運動」「社会参加」が重要と考え、この3本柱を基本として、サロン活動等を計画していたが、コロナ禍で継続的な活動が出来なかった。【東区代表】
ウォーキング大会の開催。【北区代表】	
施策2	運動面や生活面のアンケートを実施し、本校の課題を把握。学校保健員委員会で体育委員会や保健委員会による運動面や生活面での課題提示と改善に向けた運動の紹介、頑張り週間等を設けて家庭とも連携し実施した。【小学校校長会】

2. 令和4年度からの関係機関・団体における新たな取り組み

具体的な内容 ※継続事業は記載の必要ありません。	
-----------------------------	--

3. 新型コロナウイルス感染症拡大防止に関連した取り組みの実績または今後の実施予定

新型コロナウイルス感染症対策関係の取り組み内容 ※1.2と重複可。	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度は毎週1回体幹トレーニングを全校で取り組むとともに夏休みは家庭で実施できるよう映像を配布し取り組んでいる。コロナ禍の体力低下を改善する一つとして取り組んでいる。【小学校校長会】 感染拡大防止をはかる「3密」を防止する等新しい生活様式をお願いするパンフレット等を配布した。【東区代表】
--------------------------------------	---

4. 令和3年度の行政における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	熊本健康アプリと連携し、くまもと花博の期間中(R4.3.19~5.22)に、3つのメイン会場とパートナー会場を巡るデジタルスタンプラリーを実施。
	水前寺江津湖公園にて、指定管理者のウォーキングによる健康づくり事業の中で、「熊本健康ポイント事業」におけるミッションポイントを付与する取組を実施。
	地域の会議や健康教育などを通し、身体活動(生活活動、運動)や熊本健康アプリ等についての普及啓発。
	ホームページとLINEで運動習慣の定着等の情報発信。
	運動機会の充実のため、市民総参加型の熊本市民スポーツフェスタを開催。
施策2	地域における健康増進のための環境づくりを推進するスポーツ推進委員の資質向上のため、年1回研修会を開催。

5. 令和4年度からの行政における新たな取り組み

具体的な内容 ※継続事業は記載の必要ありません。	くまもと花博のレガシーイベントの期間中(10月2日~11月6日)に、街なかエリアの辛島公園フラワーアート(設置期間:10月14日~11月6日)をデジタルスタンプラリーの会場に設定。
-----------------------------	--

6. 新型コロナウイルス感染症拡大防止に関連した取り組みの実績または今後の実施予定

新型コロナウイルス感染症対策関係の取り組み内容 ※4.5.と重複可。	各種大会を開催するにあたり、検温や手指消毒、密を回避するような運営方法など、感染対策を実施。
---------------------------------------	--

3健康づくりを進める生活習慣の改善と環境づくり

取り組み項目	(3) 休養				
指標項目	13	睡眠を十分にとっている市民の割合	基準値	実績値	目標値
			H24	R3	R5
	14	ストレスをためないよう気分転換を図っている市民の割合	基準値	実績値	目標値
			H24	R3	R5
			51.1%	44.1%	65.7%
取り組み施策	概要				
施策1 「睡眠」の重要性の理解と実践	市民に睡眠や休養の重要性について正しい理解の普及啓発を図るとともに、職域保健と連携し、睡眠や休養に関する取り組みを推進する。				
施策2 休養がとれるための環境づくり	市民に休養のとり方やストレス対処法などについて情報提供を行うとともに、市民が悩みを相談できる環境整備を行う。				

1. 令和3年度の関係機関・団体における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	3年生以上の体育科保健領域の授業で心や体の健康と休養について学習している。【小学校校長会】□
	身体測定の日等に養護教諭による睡眠や休養についての保健指導を計画的に実施している。【小学校校長会】
	日々の健康観察をもとに児童の生活の様子にも気を配り、担任による保健指導を実施している。【小学校校長会】
	中学校区で連携しメディアコントロールに取り組み、睡眠時間の確保等に努めた。【小学校校長会】
施策2	熊本シティFM放送健康サロンにて、「うつ病の早期発見」のテーマでアナウンスした。【熊本県看護協会】
	睡眠については、児童の健康課題であるため、学校保健委員会で保護者と課題を共有するとともに、目標に向けて家庭でも取組を進めることができるよう連携を図っている。【小学校校長会】
	生活習慣改善のための生活点検等に保護者と連携し取り組む中で、児童の睡眠や休養について相談できる体制を整え、相談できる学校の雰囲気づくりに取り組んだ。【小学校校長会】
	日々の健康観察結果から児童の生活の様子が気になる場合には、担任と養護教諭が連携し健康相談を実施している。また、必要に応じて保護者への保健指導等にも取り組んでいる。【小学校校長会】

2. 令和4年度からの関係機関・団体における新たな取り組み

具体的な内容 ※継続事業は記載の必要ありません。	・メディアコントロールは保育園等にも取組を紹介し、同じ中学校区の小学校3校、保育園で取組を同じ時期に行い、家庭と連携することで取組の効果を上げるようさらに工夫している。【小学校校長会】
-----------------------------	--

3. 新型コロナウイルス感染症拡大防止に関連した取り組みの実績または今後の実施予定

新型コロナウイルス感染症対策関係の取り組み内容 ※1.2.と重複可。	・体の抵抗力を高めるためには、睡眠や休養は重要であるため、保健だよりによる啓発や養護教諭による保健指導、児童委員会活動を活用した生活習慣の確立に向けた取組等を丁寧に行っている。【小学校校長会】
---------------------------------------	--

4. 令和3年度の行政における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	
施策2	チラシ「すこやかな眠りのために」をホームページへ掲載。

5. 令和4年度からの行政における新たな取り組み

具体的な内容 ※継続事業は記載 の必要ありませ ん。	
-------------------------------------	--

6. 新型コロナウイルス感染症拡大防止に関連した取り組みの実績または今後の実施予定

新型コロナウイルス 感染症対策関係 の取り組み内容 ※4.5.と重複可。	
---	--

3健康づくりを進める生活習慣の改善と環境づくり

取り組み項目	(4) 飲酒						
指標項目	30	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者(男性は清酒換算2合以上、女性は清酒換算1合以上の者)の割合の減少	基準値		実績値	目標値	
			H23		R3	R5	
			男性	14.0%	15.3%	11.7%	
			女性	8.9%	12.8%	7.8%	
	31	未成年者の飲酒をなくす 国参考値	基準値		実績値	目標値	
			H22		H29	H34	
			中学3年生	男子	10.5%	3.8%	0%
				女子	11.7%	2.4%	0%
			高校3年生	男子	21.7%	10.7%	0%
	女子	19.9%		8.1%	0%		
32	妊娠中の飲酒をなくす	基準値		実績値	目標値		
		H24		R3	R5		
		3.7%		2.8%	0%		
取り組み施策		概要					
施策1	適正飲酒の普及啓発	市民に飲酒に関する情報提供を行い、適正飲酒の普及啓発を図る。					
施策2	未成年者への情報提供	市民や教育機関等と連携し、未成年者の飲酒防止を推進する。					
施策3	妊娠中や授乳中の飲酒の防止	市民に妊娠中や授乳中の飲酒について情報提供を行い、正しい理解の普及啓発を行う。					

1. 令和3年度の関係機関・団体における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	職員に飲酒に関する情報を提供し、飲酒運転や酒気帯び運転などの不祥事防止に努めている。また、職員に関連の不祥事等についての新聞記事等を印刷して、全職員で共有しているほか、職員に校内で不祥事防止研修を年間に定期的に行い、不祥事防止に努めている。【小学校校長会】
施策2	学校薬剤師が各担当校にて薬物乱用防止教育の一環として、未成年者の飲酒についての講演を実施。【熊本市薬剤師会】
	6年生の体育科保健領域では飲酒の害と健康について学習している。飲酒は健康を損なう原因になることの理解を深めている。【小学校校長会】
施策3	喫煙・飲酒・薬物乱用防止教室を開催し学校薬剤師やスクールサポーター(警察官OB)等による講話を行い理解を深めた。【小学校校長会】
	シティFM健康サロンで「妊娠中における喫煙と飲酒が及ぼす影響」についてアナウンス。【熊本県看護協会】

2. 令和4年度からの関係機関・団体における新たな取り組み

具体的な内容 ※継続事業は記載の必要ありません。	
-----------------------------	--

3. 新型コロナウイルス感染症拡大防止に関連した取り組みの実績または今後の実施予定

新型コロナウイルス感染症対策関係の取り組み内容 ※1.2.と重複可。	学校薬剤師が各担当校の依頼にて、感染防止のための消毒、マスク、換気、うがいについて相談を受け、助言を行っている。【熊本市薬剤師会】
---------------------------------------	---

4. 令和3年度の行政における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	飲酒を含む依存症に対する普及啓発として、パンフレットの配布やホームページに掲載。また、市民向け講演会としてこころの健康づくり講演会(1回36人)や、家族や当事者支援として、依存症家族教室(22回参加者:延77人)や依存症当事者グループプログラム(22回参加者:延71人)を実施。
施策2	中学生を対象とした妊婦子育て講演会において、妊娠中や授乳中の飲酒の害について情報提供を行った。 小学校の薬物乱用防止教室の中で、未成年の飲酒の危険性、適正飲酒について情報提供・普及啓発を実施。
施策3	親子(母子)健康手帳交付時や妊産婦訪問等の際に、妊娠中や授乳中の飲酒を行わないよう保健指導を実施。

5. 令和4年度からの行政における新たな取り組み

具体的な内容 ※継続事業は記載の必要ありません。	(Blank)
-----------------------------	---------

6. 新型コロナウイルス感染症拡大防止に関連した取り組みの実績または今後の実施予定

新型コロナウイルス感染症対策関係の取り組み内容 ※4.5.と重複可。	(Blank)
---------------------------------------	---------

3健康づくりを進める生活習慣の改善と環境づくり

取り組み項目	(5)喫煙						
指標項目	33	「たばこを吸わない」と答える市民の数を増やす	基準値	実績値	目標値		
			H24	R3	R5		
			70.7%	72.2%	増加傾向		
	34	COPDの認知度の向上	基準値	実績値	目標値		
			H27	H30	R5		
			58.8%	54.1%	80.0%		
	35	受動喫煙(家庭・職場・飲食店・行政機関・医療機関)の機会を有する者の割合の減少	基準値	実績値	目標値		
			H27		H30	R5	
			行政機関	7.7%	5.8%	0%	
			医療機関	6.3%	4.4%	0%	
			職場	30.2%	22.6%	受動喫煙のない職場の実現	
			家庭	23.6%	21.6%	3.0%	
	36	妊娠中の喫煙をなくす	基準値	実績値	目標値		
			H23		R3	R5	
			5.5%	1.8%	0%		
	37	未成年者の喫煙をなくす	基準値	実績値	目標値		
			H22		H29	R5	
国参考値			中学1年生	男子	1.6%	0.5%	0%
			女子	0.9%	0.5%	0%	
高校3年生			男子	8.6%	3.1%	0%	
	女子	3.8%	1.3%	0%			
取り組み施策	概要						
施策1 禁煙の支援	イベントや学校、職場等においてたばこの害についての啓発を進めるとともに、禁煙の指導を受けることのできる場所や相談先の情報提供を行い、禁煙の支援を行う。						
施策2 受動喫煙防止	行政施設、事業所等での禁煙を進めるとともに、幼児健診等の場を活用し、家庭での禁煙・分煙等の啓発を行う等、受動喫煙防止に取り組む。						
施策3 妊娠中・授乳中～未成年の喫煙防止	妊娠中、授乳中の女性や同居家族の喫煙が子どもに及ぼす影響について、親子(母子)健康手帳交付時に知識の普及に努めるとともに、学校における喫煙防止教育を推進する。						

1.令和3年度の関係機関・団体における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	学校薬剤師が各担当校にて薬物乱用防止教育の一環として、未成年者の喫煙防止教育を行っている。【熊本市薬剤師会】
	市歯科医師会と連携し、事業所(企業の職域)を対象に歯科健診プログラムにおいて、歯周病の最大のリスク因子である喫煙について、生活習慣病予防を目的とした歯科保健指導のなかで、禁煙指導を実施。【熊本県歯科衛生士会】
	6年生の体育科保健領域で喫煙の害と健康について学習した。喫煙が健康を損なう原因になることについて理解を深めた。【小学校校長会】
施策2	研修会を開催し、禁煙指導薬剤師を養成、継続研修も行っている。【熊本市薬剤師会】
	児童の学習内容を学級だよりや保健だよりで家庭にも知らせ、啓発に取り組んだ。【小学校校長会】

施策3	熊本シティFM放送健康サロンにて、「妊娠中の喫煙や飲酒の及ぼす影響」のテーマでアナウンスした。 【熊本県看護協会】
	喫煙・飲酒・薬物乱用防止教室で学校薬剤師やスクールサポーター(警察官OB)等の講話を行った。保健だよりで保護者にも内容を伝え啓発した。【小学校校長会】

2. 令和4年度からの関係機関・団体における新たな取り組み

具体的な内容 ※継続事業は記載の必要ありません。	
-----------------------------	--

3. 新型コロナウイルス感染症拡大防止に関連した取り組みの実績または今後の実施予定

新型コロナウイルス感染症対策関係の取り組み内容 ※1.2と重複可。	
--------------------------------------	--

4. 令和3年度の行政における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	サロン等でCOPDの啓発、地域の会議等で禁煙について啓発を実施。
	母子健康手帳交付時、妊婦やその家族に禁煙者がいる場合、喫煙の及ぼす影響について保健指導を実施すると共に、禁煙手帳を配布。
	「禁煙外来を受診した場合」または、「1か月間自力で禁煙に挑戦した場合」は、健康ポイント(40ポイント)が獲得できる取組を開始。
	世界禁煙デーに合わせたパネル展示や各種啓発を実施。 市ホームページに禁煙外来のある医療機関を掲載。
施策2	幼児健診等の場を活用し、幼児へのタバコの影響について啓発を実施。家庭での禁煙・分煙の啓発を実施。
	市施設の原則敷地内禁煙及び職員の勤務時間中禁煙の実施。(令和元年7月以降)
	飲食店事業者を対象に受動喫煙防止対策の実施状況を調査し、屋内における喫煙状況を把握。
	受動喫煙防止対策専用コールセンターにて、苦情や通報の対応。
	喫煙専用室を設置する街なかの飲食店を対象に、標識掲示や風速測定等の現地調査を実施。 受動喫煙防止の啓発のため、マスクケースを作成し飲食店等に配布。 屋外の受動喫煙防止ポスターを作成し、受動喫煙防止の配慮義務について周知。
施策3	親子(母子)健康手帳交付時、妊婦やその家族に喫煙者がいる場合、禁煙手帳を配布。また、訪問等の際に、喫煙の及ぼす影響について保健指導を実施。
	中学生を対象とした妊婦子育て講演会において、たばこの害について情報提供を実施。
	妊婦歯科健診・歯科健康相談時に、妊婦に対して、喫煙や受動喫煙による歯周病が与える母子への健康被害の影響、早産や低体重児出産等の防止等について啓発。
	幼児健診等の場を活用し、禁煙・分煙の啓発実施。 市政だより折込版で成人年齢が18歳に引き下げられても20歳未満は喫煙できないことを周知。

5. 令和4年度からの行政における新たな取り組み

具体的な内容 ※継続事業は記載の必要ありません。	<ul style="list-style-type: none"> 禁煙や受動喫煙について正しい情報を周知するため、一般社団法人くまもと禁煙推進フォーラムのご協力のもと禁煙に関する動画を本市YouTubeに公開。【健康づくり推進課】 市薬剤師会にご協力いただき、身近な薬局で禁煙相談をすることができる禁煙支援薬局をHPで紹介。【健康づくり推進課】 禁煙を希望する市民を支援するため、行政と連携し、「禁煙支援薬局」の取組を開始する。【熊本市薬剤師会】
-----------------------------	--

6. 新型コロナウイルス感染症拡大防止に関連した取り組みの実績または今後の実施予定

新型コロナウイルス感染症対策関係の取り組み内容 ※4.5と重複可。	
--------------------------------------	--

3健康づくりを進める生活習慣の改善と環境づくり

取り組み項目	(6) 歯・口腔の健康					
指標項目	38	3歳児でむし歯のない者の増加	基準値	実績値	目標値	
			H23	R3	R5	
				76.3%	84.1%	90.0%
	39	12歳児でむし歯のない者の増加(中学1年生) ※1人あたりのむし歯本数	基準値	実績値	目標値	
			H23	R3	R5	
				1.29本	0.73本	0.7本未満
	40	20歳代における歯肉に炎症所見を有する者の減少	基準値	実績値	目標値	
			H22	R元	R5	
				38.0%	70.3%	25.0%
	41	60歳で24歯以上の自分の歯を有する者の増加	基準値	実績値	目標値	
H23			H30	R5		
			63.9%	76.1%	80.0%	
42	80歳で20歯以上の自分の歯を有する者(8020達成)の増加	基準値	実績値	目標値		
		H23	H30	R5		
			38.3%	62.0%	65.0%	
取り組み施策	概要					
施策1 子どものむし歯や歯肉炎の予防	乳幼児健診、相談、健康教育でむし歯や歯肉炎予防、生活習慣の情報提供の充実。					
施策2 歯周疾患の予防	20歳以上の年代に歯周病と低出生体重児等との関わりや口腔疾患が生活習慣病であることの周知に努め、歯科健診の啓発を図る。					
施策3 歯の喪失防止	<ul style="list-style-type: none"> ・8020運動を目指すためにも、60歳代における咀嚼良好者の増加を目指す。 ・大学生等に対する歯周病対策を行うことで、8020の達成を図る 					

1. 令和3年度の関係機関・団体における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	学校薬剤師が各担当校にてフッ化物洗口にての相談、助言を行っている。【熊本市薬剤師会】
	県からの受託授業「市町村歯科衛生士研修会」を歯科衛生士や保育士、保健師、栄養士などを対象として開催。【熊本県歯科衛生士会】
	昨年度作成した「子どものむし歯予防4つのポイント」のチラシ(QRコードあり)を各団体に配布を依頼し、子どものむし歯予防に関する普及啓発を行う。【熊本県歯科衛生士会】
	令和3年6月16日(水)一般社団法人ゆこり代表理事言語聴覚士下田祐輝氏を講師に迎え、「食事や口の発達など気になる子どもの課題」をテーマに、オンラインにて研修実施。保育関係者78名参加。【熊本市保育園連盟】
	令和3年10月28日(木)城南歯科医院院長宮本格尚氏/副院長宮本美沙氏を講師に迎え、「お口の中と全身健康との関わり」「お口の中から見た乳幼児期の発達」をテーマに、オンラインにて研修実施。保育関係者18名参加。【熊本市保育園連盟】
	フッ化物洗口実施園が取り組み内容や成果等を公開し、他の幼稚園・認定こども園への啓発につなげた。【熊本市私立幼稚園・認定こども園協会】
	全学年、学級活動でむし歯予防や歯周病予防等について学習した。担任と養護教諭がTTで学習を進め、児童の理解を深めた。また、3年生以上の体育科保健領域の授業では、むし歯予防や歯周病予防等を含め、健康な生活を送るために大切なことを学年段階に応じて学習した。【小学校校長会】
	児童の定期健康診断における歯科検診を実施。【小学校校長会】
	子育てサークルや保育所・小学校等においてむし歯予防や歯肉炎予防についての歯科啓発を実施。【8020健康づくりの会】
小学校におけるフッ化物洗口の取組に協力し、学童期におけるむし歯予防の推進を図った。【8020健康づくりの会】	

	地域の子育てサークル等でおやつの講話行う際に、むし歯予防のための時間を決めたおやつの食べ方等のお話をした。【食生活改善推進員協議会】
施策2	各薬局にて処方医薬品の歯への副作用の有無を聞き取り、歯科受診を勧めている。【熊本市薬剤師会】
	「喫煙や歯科・口腔ケア」に関する内容を含む研修会を、妊娠期に関わる看護師・助産師・養護教諭を対象に実施(1回16名)【熊本県看護協会】
	【まちの保健室における健康相談】熊本県内8ヵ所(市内2ヵ所)で健康相談時に、禁煙や口腔の健康について指導(市内7回)【熊本県看護協会】
	訪問看護の際に、口腔内ケア並びに保健指導(全世代の対象者に実施)【熊本県看護協会】
	市歯科医師会と連携し、企業の職域対象に歯科健診プログラムにおいて生活習慣病予防を通して全身の健康づくりに効果的な歯科保健指導を実施。【熊本県歯科衛生士会】
	熊本県職員歯科健康診断事業で、歯科医師による診断結果を、受診者に説明し、定期歯科健診の受診勧奨を行う。【熊本県歯科衛生士会】
	熊本県歯科医師会と連携し、事業所における歯援プログラム[質問票及び咀嚼力検査の実施による歯科指導及び歯科医への受診勧奨]を実施した。(3事業者、69名に対し実施)【協会けんぽ】
	5年生は、「全国小学生歯みがき大会」に参加し、歯みがき大切さについて学習した。【小学校校長会】
	養護教諭による歯みがき指導を実施。【小学校校長会】
	地域や職場などにおける歯と口の健康づくりに関する情報などを提供。【8020健康づくりの会】
会で歯科啓発リーフレットを作成し、そこに歯科保健情報のQRコードを掲載し、コロナ禍においても歯と口の健康づくりに関する情報提供の充実が図れるような取組を行った。【8020健康づくりの会】	
施策3	摂食・嚥下障害への支援と口腔ケアについて、看護職対象に研修会を開催。【熊本県看護協会】
	校区福祉ネットワークとの連携やささえりあからの依頼により、オーラルフレイル予防を目的としたお口の健康講座を実施。【熊本県歯科衛生士会】
	自立支援型地域ケア会議に助言者として出席、歯と口腔の健康維持、改善に対して助言を行う。【熊本県歯科衛生士会】
	高齢者の自立支援における歯科衛生士の資質向上を図るため人材育成研修会を実施。【熊本県歯科衛生士会】
	「熊本シティFM健康サロン」に出演し、歯・口腔の健康に関する普及啓発を行う。【熊本県歯科衛生士会】
「噛むことの大切さ」を伝えるために講演会の動画をYouTubeで配信し、市民に対する歯科啓発を実施。【8020健康づくりの会】	

2. 令和4年度からの関係機関・団体における新たな取り組み

<p>具体的な内容 ※継続事業は記載の必要ありません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・節目検診の対象拡大に対する協力【熊本市歯科医師会】 ・災害看護フォローアップ研修において、「(仮称)災害時の口腔ケア」について研修会を開催【熊本県看護協会】 ・熊本シティFM健康サロン放送「口腔ケアの大切さ(仮題)」【熊本県看護協会】 ・看護職および医療従事者を対象としたシンポジウム「多職種で取り組むフレイル予防」の中で歯科衛生士の発表を予定【熊本県看護協会】 ・フッ化物洗口の再開。【小学校校長会】 ・歯科医師会や歯科衛生士会、学校歯科医と連携した歯みがき巡回指導(染め出し等の実施)【小学校校長会】 ・いい歯の日に合わせて市役所ロビーで8020推進員が来庁者へ啓発を実施。【8020健康づくりの会】 ・啓発リーフレットを新たに作成し、幅広い年代に向け歯と口の健康づくりについての啓発を実施。【8020健康づくりの会】
-------------------------------------	---

3.新型コロナウイルス感染症拡大防止に関連した取り組みの実績または今後の実施予定

<p>新型コロナウイルス感染症対策関係の取り組み内容 ※1.2.と重複可。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・口腔ケアによるコロナ予防の啓発【熊本市歯科医師会】 ・市歯科医師会との連携事業「歯みがき巡回指導」が新型コロナ感染拡大防止のためR2、R3と実施できていなかった為、染め出し実践の動画を作成。今年度は4校実施予定(11月)【熊本県歯科衛生士会】 ・新しい生活様式を取り入れたはみがきの仕方の保健指導を実施し、給食の歯みがきに取り組む。【小学校校長会】
---	---

4.令和3年度の行政における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
<p>施策1</p>	<p>「歯っぴー事業」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パンフレットを各掲示板に掲載し窓口にも設置 ・相談時、必要に応じて保護者へ情報提供を実施。 ・パンフレットを活用して歯の健康について説明を行い意識向上を促す。 <p>地域の子育てサークル等の乳幼児と保護者に対し、口腔機能・歯の健康に関する啓発や歯科相談等を実施。</p> <p>歯科医師を講師に「歯と口腔の健康づくり～噛む事で改善出来る5つの事～」と題して研修会を実施。また各区役所保健子ども課歯科衛生士を講師に、子育て支援センターにて、歯科講話を実施。</p> <p>1歳6か月児健康診査において歯科健診・歯科健康相談を実施し、希望者に対してフッ化物体験塗布を実施。(体験塗布者5,209人(92.1%))</p> <p>むし歯予防対策として、科学的根拠に基づくフッ化物洗口を保育所・幼稚園・認定こども園・小学校において実施。</p>
<p>施策2</p>	<p>歯科疾患予防として、妊婦を対象に「妊婦歯科健診」、40・41歳及び60・61歳を対象に「歯周病検診」を実施。</p>
<p>施策3</p>	<p>後期高齢者医療被保険者へ後期高齢者歯科口腔健診を実施。</p> <p>高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に係る健康教室内でオーラルフレイル予防に関する講話ならびに口腔体操を指導。</p> <p>高齢者を対象に地域において、口腔機能向上や口腔ケアの必要性について歯科健康教育を実施。</p> <p>高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業での健康教育において体力測定および高齢者の質問票を活用し、フレイル状態の把握、また、フレイル予防に関する講話を実施(オーラルフレイルを含む)。委託による「運動機能向上」「口腔機能向上」「栄養改善」の各プログラムを提供する短期集中予防サービスを実施。</p> <p>満80歳以上で自分の歯を20本以上有する8020達成者を表彰。</p>

5.令和4年度からの行政における新たな取り組み

<p>具体的な内容 ※継続事業は記載の必要ありません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・企業従事者を対象に口腔ケアに関する啓発事業を実施。内容:歯周病、むし歯予防の講話、口腔ケア体験等。 ・高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施におけるオーラルフレイル予防対策として、後期高齢者健診の結果から口腔機能低下のリスクの高い方を抽出し、地域支援事業(短期集中予防サービス)への案内を開始。 ・後期高齢者健診結果(質問票)より、オーラルフレイルのリスクが高い方へ、介護予防事業の紹介を行い、地域包括支援センターと連携し、必要な方へサービスの利用を促す。 ・ケアマネジャー等を対象にオーラルフレイルに関する研修会の実施。 ・結婚子育て応援サイト「歯と口の健康づくりに関する情報」の内容を充実、母子健康手帳別冊や妊婦歯科健診ちらし、満1歳お誕生日カードに子どものむし歯予防に関する情報を掲載し配布。 ・歯周病検診の対象に50歳と70歳を追加。 ・歯周病検診事業では、試験的に40歳のみ個別勧奨通知を発送し、受診率向上を図った。 ・毎月8日を「歯の日」とし、SNS等で歯と口の健康づくり情報を発信。 ・歯と口腔の課題への取組を強化するため、「熊本市口腔保健支援センター」を令和4年4月に設置した。【健康づくり推進課】
-------------------------------------	--

6.新型コロナウイルス感染症拡大防止に関連した取り組みの実績または今後の実施予定

<p>新型コロナウイルス感染症対策関係の取り組み内容 ※4.5.と重複可。</p>	
---	--

4健康を支え、守るための社会環境の整備

取り組み項目	(1)小学校区単位の健康まちづくり				
指標項目	43	市民と協働で健康をテーマとしたまちづくりを実施する校区の増加	基準値	実績値	目標値
			H23	R3	R5
			6校区	68校区	92校区
取り組み施策	概要				
施策1 市民・関係機関・行政との協働による健康まちづくりの推進	小学校区を単位とし、校区の健康課題や健康づくりの目標を市民と共有しながら、校区の特性に応じた健康をテーマとしたまちづくりの取り組みを推進するとともに、生活習慣が形成される時期に展開される学校保健との連携に努め、健康課題解決に向けた取組みを推進する。				

1.令和3年度の関係機関・団体における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	東区の健軍健康フェスタに参加し、薬剤師会ブースにてお薬相談を受けている。【熊本市薬剤師会】
	年度当初、児童に健康に関するアンケートを実施し、個別の課題及び学校としての健康課題を確認。学校の健康課題が生活習慣、特に睡眠と運動にあることを確認した。その後学校保健員会を開催し、健康課題解決に向けて、学級・学校での目標設定や家庭での取組等に関して、保護者と情報共有し、取組を開始した。長期休業や休業明けに生活点検を実施したり、運動量を確保するために、家族で取り組める体幹トレーニングについて家庭での取組を呼びかけたりした。また、はみがきカレンダーを6月・11月に実施し、親子で楽しみながら取り組めるようにした。点検カード等の実施後は振り返りを行い、結果を学校と保護者で共有することで、次の実践につないだ。学校では点検結果をもとに担任と養護教諭が連携し、保健指導を行った。肥満傾向の児童には、健康手帳を活用し、健康な生活について保護者も含めて個別指導に取り組んだ。健康カルテによる振り返りで個別の指導にも取り組んだ。【小学校校長会】
	地域住民の防災意識の向上を図るため、家庭内での食料備蓄やパッキング等について講話等を行う、「地域における災害復興支援活動事業」を実施。(3回34人)【食生活改善推進員協議会】
	ウォーキング大会の開催。【北区代表】
	フードパルでの「タぐれウォーク」の開催。(毎月第4日曜)【北区代表】
	いきいき健康サロン(高齢者サロン)の実施。(25町内中17町内で実施)【北区代表】
	健康づくりの情報紙「にしごと広報・健康だより」を発行。(全世帯2,500部)【北区代表】

2.令和4年度からの関係機関・団体における新たな取り組み

具体的な内容 ※継続事業は記載の必要ありません。	睡眠と関係の深いメディアの接触について課題があることから、同じ中学校区でメディアコントロールの取組を行っているが、校区にある保育園も含めて拡大し実施する。幼保小中連携の日の取組として各学校の健康課題解決に向けた取組等を紹介し、各学校の実践に学び、自校の取組に生かしている。体幹トレーニングについては、週1回ではあるが、今年度は時間を設定し、全校で取り組む。【小学校校長会】
-----------------------------	--

3.新型コロナウイルス感染症拡大防止に関連した取り組みの実績または今後の実施予定

新型コロナウイルス感染症対策関係の取り組み内容 ※1.2.と重複可。	手洗い、うがいなど生活習慣の一つとして、子供たちに保健指導を行うとともに、取組の徹底を図った。【小学校校長会】
---------------------------------------	---

4.令和3年度の行政における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
	校区自治協議会を母体とした「健康づくりを考える組織」と連携しながら推進健康づくり部会等地域組織へ校区カルテ・KDBシステム等を活用して健康に関するデータや健康課題を共有し、活動の方向性を話しあった。(個別訪問を含む)(西区13回) 地域組織が開催するイベント時に健康チェックや啓発活動の協力を行った(2回140人)

施策1	若い世代をターゲットに西区健康センター来所者に西区の健康課題や健康情報の発信を行い、健康意識の醸成を図る。
	福祉課主催の西区地域包括ケアシステムのアクションプラン作成に向けた各包括圏域毎の会議に参加し、関係機関と地域の健康課題等の情報交換を行った。
	西区健康まちづくり部会と西区安全衛生委員会との共催で、職員向けに健康に関する情報提供を書面研修で実施。
	保健子ども課、まちづくりセンター、ささえりあで「校区健康カルテ検討会」を行いその中で、「校区健康カルテ」と、校区保健師が分析した結果や課題等について、共有と協議を行い、それぞれの活動の視点から健康情報や地区組織とどのように協働で健康づくりを進めていくかなど共有できた。
	地域の健康づくりイベント等の中止により、健康まちづくり推進協議会の団体としての活動は休止。役員会や定例会、高齢者サロン支援等個々の活動を実施。
	2ブロックずつ(幸田・熊本南、飽田・天明、富合・城南)が集まり合同連絡会を開催。南区健康まちづくり事業推進プロジェクト会議は書面会議で実施。
	健康まちづくり委員会をはじめ、校区自治協議会・民生児童委員協議会等地域組織および関係機関と校区健康カルテ等用いて校区の健康課題を共有。
	校区健康カルテ第2版を作成し、各区保健子ども課、まちづくりセンターなど関係課等へ提供。
	校区単位の健康まちづくり活動に関する現状を把握し、取組を活性化することを目的に、地域役員及び地域活動を支援している職員向けにアンケートを実施。

5. 令和4年度からの行政における新たな取り組み

具体的な内容 ※継続事業は記載の必要ありません。	令和3年度に実施したアンケート結果を報告し、ポストコロナにおける地域での健康まちづくり活動の推進を促す。【健康づくり推進課】
------------------------------------	--

6. 新型コロナウイルス感染症拡大防止に関連した取り組みの実績または今後の実施予定

新型コロナウイルス感染症対策関係の取り組み内容 ※4.5.と重複可。	
--	--

4健康を支え、守るための社会環境の整備

取り組み項目	(2) 健康づくりを支えるボランティアの育成・支援					
指標項目	44	健康づくり推進に関するボランティア数等の増加	基準値	実績値	目標値	
			H24	R3	R5	
				1,327人	1,845人	3,000人
	45	過去1年間に地域活動に参加した市民の割合 (参加したことがある)	基準値	実績値	目標値	
H24			R3	R5		
			46.7%	29.5%	60.0%	
取り組み施策	概要					
施策1 ボランティアの育成・支援	食生活改善推進員や8020推進員などの健康づくりに関するボランティア養成や活動支援に努めるとともに、「校区単位の健康まちづくり」を推進する部会を設置する等、組織化を図っていく。					
施策2 ボランティア支援体制の充実等	ボランティア活動に関する情報発信の場の提供など継続した活動を支援し、「健康づくり熊本市民応援団」や地区住民会議の取り組みを支援する。					

1. 令和3年度の関係機関・団体における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	熊本市内3ヶ所、市外10ヶ所で「健康相談等」を行う「まちの保健室」を実施しており、携わるボランティア従事者(看護職)を対象に研修会をオンラインにて開催。(R3.5.1960名、R4.3.1130名)【熊本県看護協会】
	例年は8020推進委員の皆様のご協力のもと、フッ化物洗口に取り組んでいるが、令和2年度に引き続き令和3年度も新型コロナウイルス感染拡大により休止している。【小学校校長会】
	総合的な学習の時間に、JA青年部の協力のもと、田植えと稲刈りを行った。(6月、10月)近隣の保育園とも連携し取り組むことができた。【小学校校長会】
	市が実施する食生活改善推進員養成講座において、受講生に対して活動についての話や、交流会に参加し食のボランティア養成を支援した。【食生活改善推進員協議会】
	食に関するボランティアとして身に付けることが必要な各種知識について、研修会(フレイル、乳和食等)への参加等で自己研鑽を行った。【食生活改善推進員協議会】
施策2	食育推進ネットワーク事業への参画(新型コロナ感染拡大のため中止)【熊本県栄養士会】
	収穫したもち米で餅つきを行い、田植えや稲刈りに協力いただいた方との交流を図っている。また、保育園とも連携し一緒に餅つきを行い交流している。【小学校校長会】

2. 令和4年度からの関係機関・団体における新たな取り組み

具体的な内容 ※継続事業は記載の必要ありません。	
-----------------------------	--

3. 新型コロナウイルス感染症拡大防止に関連した取り組みの実績または今後の実施予定

新型コロナウイルス感染症対策関係の取り組み内容 ※1.2と重複可。	
--------------------------------------	--

4. 令和3年度の行政における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	熊本市役所各課および関係機関が実施する出前講座の一覧を作成・周知することで、生涯学習を通してボランティア活動を支援している。
	健康まちづくり推進員協議会の運営・活動支援 会員数53人、地域の健康づくりイベント等の中止により、健康まちづくり推進協議会の団体としての活動は休止。役員会4回及び定例会2回(書面開催1回・対面開催1回)の実施、コロナ禍における会員同士のつながりや活動意欲の継続、健康情報発信のために、会員向けの通信「健まちだより」2回発行の活動を支援。
	食生活改善推進員養成講座「すこやかくまもと栄養セミナー」を実施。
	8020推進員育成講座を5区役所で開催し、73人が修了した。新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため書面での参加も可能とし、歯みがき実習なども感染対策を講じながら行った。
	食生活改善推進員養成講座(すこやかくまもと栄養セミナー):食を通じた健康づくりのボランティア「食生活改善推進員」の養成。新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、書面研修及び開催時間の短縮、調理実習についてはデモや在宅学習等で実施。(養成数42人)
食生活改善推進員研修会:ボランティア活動に生かすための知識と技術を習得。新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、対面と書面を併用して研修会を実施。	
施策2	食生活改善推進員活動の円滑な実施のため、会議等での助言や相談支援活動を実施した。
	熊本市8020健康づくりの会活動支援:推進員が自主的かつ円滑に活動できるように、会議等での助言や、相談支援等を行った。(会員数466人、支援延べ379回)
	食生活改善推進員活動支援:推進員活動の円滑な実施のため、会議等での助言や、相談支援等を行った。(会員数554人、支援延べ2,637回)

5. 令和4年度からの行政における新たな取り組み

具体的な内容 ※継続事業は記載の必要ありません。	
-----------------------------	--

6. 新型コロナウイルス感染症拡大防止に関連した取り組みの実績または今後の実施予定

新型コロナウイルス感染症対策関係の取り組み内容 ※4.5.と重複可。	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者自らの積極的な健康づくりや介護予防への取り組みを推進するため、地域活動の担い手となる人材として「介護予防サポーター」を養成している。新型コロナウイルス感染症感染拡大防止や新しい生活様式に向け、その養成講座およびフォローアップ講座の中にオンラインの利活用についての内容を取り入れ、地域活動に生かしていけるような取組みを行っている。【高齢福祉課】
---------------------------------------	--

4健康を支え、守るための社会環境の整備

取り組み項目	(3) 企業・大学等の健康づくり活動の促進				
指標項目	46	健康づくりできます店の登録数の増加	基準値	実績値	目標値
			H23	R3	R5
			109店	219	250店
取り組み施策	概要				
施策1	職場における健康づくり	職域保健や企業と連携し、職場における健康づくりを推進する。			
施策2	産学公民の連携による健康づくり	大学や企業等と連携し、市民が健康づくりしやすい環境整備を図る。			

1. 令和3年度の関係機関・団体における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	職場において、例年正規・非正規職員の全員が定期健康診断を受診し、検診指摘後のフォローを行っている。【熊本県看護協会】
	協定先と連携し、健康宣言事業所数の拡大を図る。宣言事業所数1,915社。(年度末現在)【協会けんぽ】
	健康宣言事業所の連携強化と健康経営の質の向上を目的に発足したくまもと健康企業会56社(年度末現在)の活動をサポート。【協会けんぽ】
	毎年ストレスチェックを行い、自己の結果分析、職場としての課題の把握、課題解決に向けた取組を実施。結果についても報告している。【小学校校長会】
施策2	働き方改革に取り組むとともに、悩みや心配事を相談しやすい職場づくりに取り組んでいる。【小学校校長会】
	市が実施する食生活改善推進員養成講座において、受講生に対して活動についての話や、交流会に参加し食のボランティア養成を支援した。【食生活改善推進員協議会】
	食に関するボランティアとして身に付けることが必要な各種知識について、研修会(フレイル、乳和食等)への参加等で自己研鑽を行った。【食生活改善推進員協議会】

2. 令和4年度からの関係機関・団体における新たな取り組み

具体的な内容 ※継続事業は記載の必要ありません。	
-----------------------------	--

3. 新型コロナウイルス感染症拡大防止に関連した取り組みの実績または今後の実施予定

新型コロナウイルス感染症対策関係の取り組み内容 ※1.2と重複可。	
--------------------------------------	--

4. 令和3年度の行政における主な取り組み状況等

具体的な内容等	
施策1	17社の熊本市がん対策企業等連携協定締結企業において、企業等の従業員及びその家族へのがん予防及びがん検診等の情報提供を実施。
施策2	北区で作成した野菜摂取促進ポスターを管内の各種団体で掲示してもらい啓発を実施。特に保育園等で行うことで働き盛り世代への啓発につながった。
	食品関連事業者等が実施する食育活動支援事業:市民が食育を実践しやすい環境を整備するため、食品関連事業者に野菜摂取啓発ポスターや野菜レシピの配付、栄養表示の支援を行い、食品関連事業者等が実施する食育活動に必要な技術的支援等を行う。(支援事業者数174件)

5. 令和4年度からの行政における新たな取り組み

具体的な内容 ※継続事業は記載の必要ありません。	・(株)杉養蜂園と「健康増進に関する連携協定」を締結し、官民協働で健康づくりを推進します。【健康づくり推進課】
-----------------------------	---

6. 新型コロナウイルス感染症拡大防止に関連した取り組みの実績または今後の実施予定

新型コロナウイルス感染症対策関係の取り組み内容 ※4.5と重複可。	
--------------------------------------	--

その他市民の『健康づくり』のために取り組んでいる内容

行政における主な取り組み状況等

取り組み状況等	
1	「歯っぴー事業」 ・パンフレットを各掲示板に掲載し窓口にも設置 ・相談時、必要に応じて保護者へ情報提供を行う ・パンフレットを活用して歯の健康について説明を行い意識向上を促していく
2	
3	
4	
5	
6	

行政における今年度からの新たな取り組み

今年度の新たな取り組み	
-------------	--